

令和6年度
バルク貨物流動調査
調査結果
概要版

令和7年6月

国土交通省港湾局

はじめに

わが国は輸出入貨物の99%以上が海上輸送であり、産業や国民生活に欠かせない資源、エネルギー、食糧等をはじめとするバルク貨物のほとんどは海外からの輸入に依存しています。このようなバルク貨物について、生産地から消費地までの海陸一貫の流動実態を把握することは、今後の港湾政策を立案するに当たって極めて重要です。このため、外貿、内貿を含め、生産地から消費地までの一貫したバルク貨物の流動状況について、令和6年11月1日から30日までの1ヶ月間、実態調査を行いました。

本調査は、過去3回（平成21年度、平成26年度、令和元年度）実施されており、この結果は国土交通省においてバルク貨物輸送に即した行政運営、及び、バルク貨物拠点港や関連施設の整備計画の策定等に広く利用されているほか、港湾管理者、関係団体さらには民間の事業者においても事業計画立案等の基礎資料として有効に活用されています。

今年度以降、国において詳細な分析を進める予定ですが、調査結果を「令和6年度 バルク貨物流動調査 調査結果概要版」として取りまとめました。バルク貨物流動調査への理解を深めていただくとともに、今後、バルク貨物流動調査の結果を活用する上での参考資料となるよう、わが国港湾発着のバルク貨物の動向等を分かりやすくまとめたものです。今回の調査結果についても、有効に利用されることを期待しております。

今回の調査においては、一般社団法人日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、外国船舶協会、日本船舶代理店協会、外航船舶代理店業協会をはじめ、各船社、荷主、関係団体の方々など多く皆様に御協力をいただき、有用なデータを取りまとめることができました。皆様のご協力に感謝を申し上げますとともに、今後の同調査の主旨、重要性に対するご理解を深めていただき、次回調査においても積極的にご協力頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

令和7年6月

国土交通省港湾局

目 次

1. 調査内容	1
2. 調査方法	1
3. 調査結果	2
3－1. 取扱貨物量	2
(1) 品目別貨物量	3
(2) 港湾別貨物量	4
(3) 品目別仕出地仕向地別貨物量（国内）	8
(4) 品目別仕向国仕出国別貨物量（海外）	12
(5) 品目別出荷施設入荷施設別貨物量	14
(6) 出荷入荷施設からの輸送の有無	15
3－2. 船型、寄港回数等	16
(1) 船型別隻数	16
(2) 寄港回数	20
3－3. 内陸及び海上の流動状況	24
参考資料 品目コード	27

1. 調査内容

調 査 範 囲：バルク貨物の以下の流動実態

- ①内陸（仕出地）から臨海地域の出荷施設までの輸送
- ②臨海地域の出荷施設から船舶までの輸送
- ③船舶輸送
- ④船舶から臨海地域の入荷施設までの輸送
- ⑤臨海地域の入荷施設から内陸（仕向地）までの輸送

調 査 期 間：令和6年11月1日（金）～11月30日（土）の30日間

調査対象貨物：上記調査実施期間中に我が国港湾に入出港する船舶によって輸送されるバルク貨物（「コンテナ貨物」及び「フェリー」、「RORO船」等を除く内航船舶、外航船舶により輸送される貨物。バラ積みのドライバルク、原油等の液体バルク、完成自動車等が対象。船種としては、在来船、タンカー、PCC船の他、各種専用船が対象。）

2. 調査方法

調査は、本調査、補足調査の二段階で実施した。

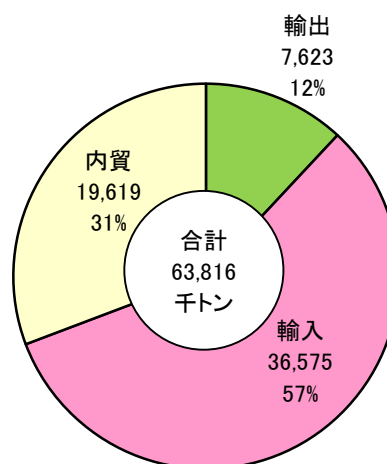
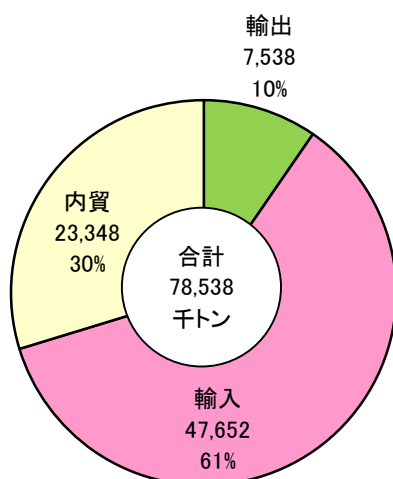
本調査は、調査内容の中心実態を把握する者である船社を対象とし、対象の船社には、調査票を記入、回収した上で、未記入部分については、誰に補足調査をするべきかを併せて尋ねた。未記入部分を補完するための補足調査は、内陸流動を把握していると思われる事業者を対象として実施した。

3. 調査結果

3-1. 取扱貨物量

令和6年度における取扱貨物量は、輸出 7,623 千トン（12%）、輸入 36,575 千トン（57%）、外貿合計 44,198 千トン（69%）、内貿 19,619 千トン（31%）、合計 63,816 千トンとなっており、輸入の割合が多い。

前回調査（令和元年度）と比較すると割合に大きな変化はないが、輸出貨物量は増加している一方、輸入貨物量、内貿貨物量は減少している。



※完成自動車については1台10トンに換算した

図-3.1.1 外貿内貿別貨物量
【前回調査（令和元年度）】

図-3.1.2 外貿内貿別貨物量
【今回調査（令和6年度）】

調査期間

前回調査（令和元年度）：令和元年11月1日（金）～11月30日（土）の30日間

今回調査（令和6年度）：令和6年11月1日（金）～11月30日（土）の30日間

(1) 品目別貨物量 (※品目の詳細については、巻末の品目コードを参照ください)

輸出は、1位が完成自動車 58%、2位が鋼材 13%、3位がその他石油製品 7%であり、上位3品目で 79%であった。

輸入は、1位が石炭 34%、2位が原油 23%、3位が鉄鉱石 20%であり、上位3品目で 76%であった。輸入貨物はバルク貨物全体の大部分を占めるため、この3品目は非常に取扱量の大きな貨物といえる。

内貿は、1位が鋼材 13%、2位がその他の石油 13%、3位が石灰石 12%、4位がセメント 9%、上位4品目で 48%であった。

表-3.1.1 輸出：品目別貨物量 (上位 10 品目)

順位	CD	品目名	貨物量(千トン)	割合
1	252	完成自動車	4,424	58.0%
2	222	鋼材	1,021	13.4%
3	324	その他石油製品	550	7.2%
4	281	セメント	301	4.0%
5	191	石灰石	212	2.8%
6	221	鉄鋼	189	2.5%
7	351	化学薬品	155	2.0%
8	211	非金属鉱物	101	1.3%
9	261	産業機械	92	1.2%
10	321	その他の石油	84	1.1%
		その他	493	6.5%
		合計	7,623	100.0%

※完成自動車については1台10トンに換算した

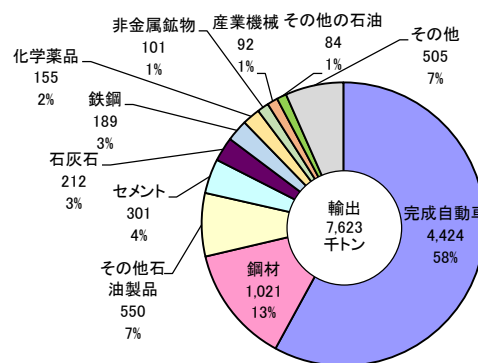


図-3.1.3 輸出：品目別貨物量

表-3.1.2 輸入：品目別貨物量 (上位 10 品目)

順位	CD	品目名	貨物量(千トン)	割合
1	131	石炭	12,261	33.5%
2	171	原油	8,468	23.2%
3	141	鉄鉱石	7,190	19.7%
4	322	LNG(液化天然ガス)	2,524	6.9%
5	111	木材チップ	664	1.8%
6	323	LPG(液化石油ガス)	662	1.8%
7	92	製材	610	1.7%
8	201	原塩	468	1.3%
9	22	とうもろこし	421	1.2%
10	324	その他石油製品	407	1.1%
		その他	2,898	7.9%
		合計	36,575	100.0%

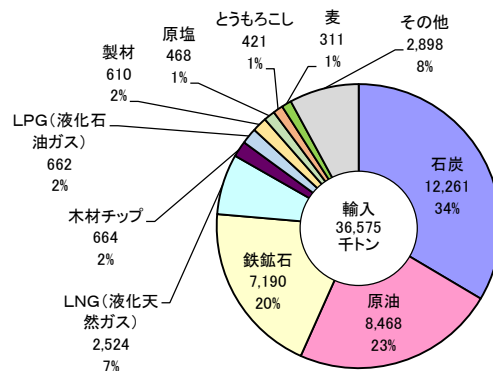


図-3.1.4 輸入：品目別貨物量

表-3.1.3 内貿：品目別貨物量 (上位 10 品目)

順位	CD	品目名	貨物量(千トン)	割合
1	222	鋼材	2,634	13.4%
2	321	その他の石油	2,622	13.4%
3	191	石灰石	2,320	11.8%
4	281	セメント	1,777	9.1%
5	320	揮発油	1,677	8.5%
6	311	重油	1,547	7.9%
7	252	完成自動車	1,380	7.0%
8	131	石炭	824	4.2%
9	211	非金属鉱物	720	3.7%
10	351	化学薬品	673	3.4%
		その他	3,444	17.6%
		合計	19,619	100.0%

※完成自動車については1台10トンに換算した

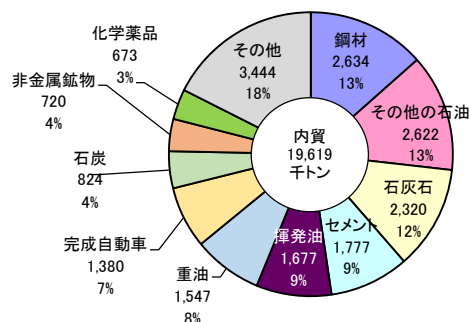
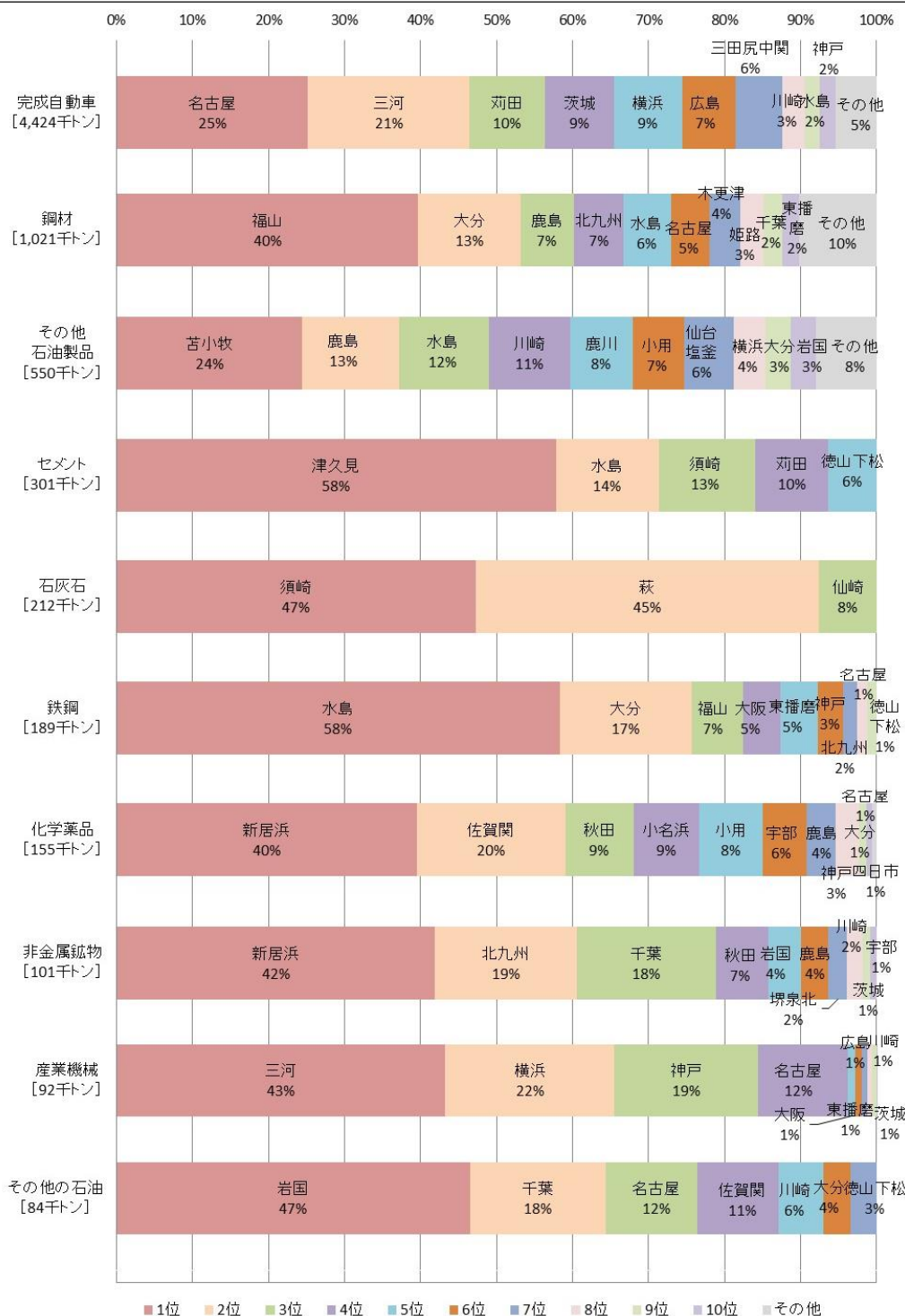


図-3.1.5 内貿：品目別貨物量

(2) 港湾別貨物量

1) 輸出 (上位 10 品目)

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、名古屋港が 25%、三河港が 21%、荻田港が 10%であった。2 位の鋼材では、福山港が 40%、大分港が 13%、鹿島港、北九州港が 7%であった。3 位のその他石油製品では、苫小牧港が 24%、鹿島港が 13%、水島港が 12%であった。



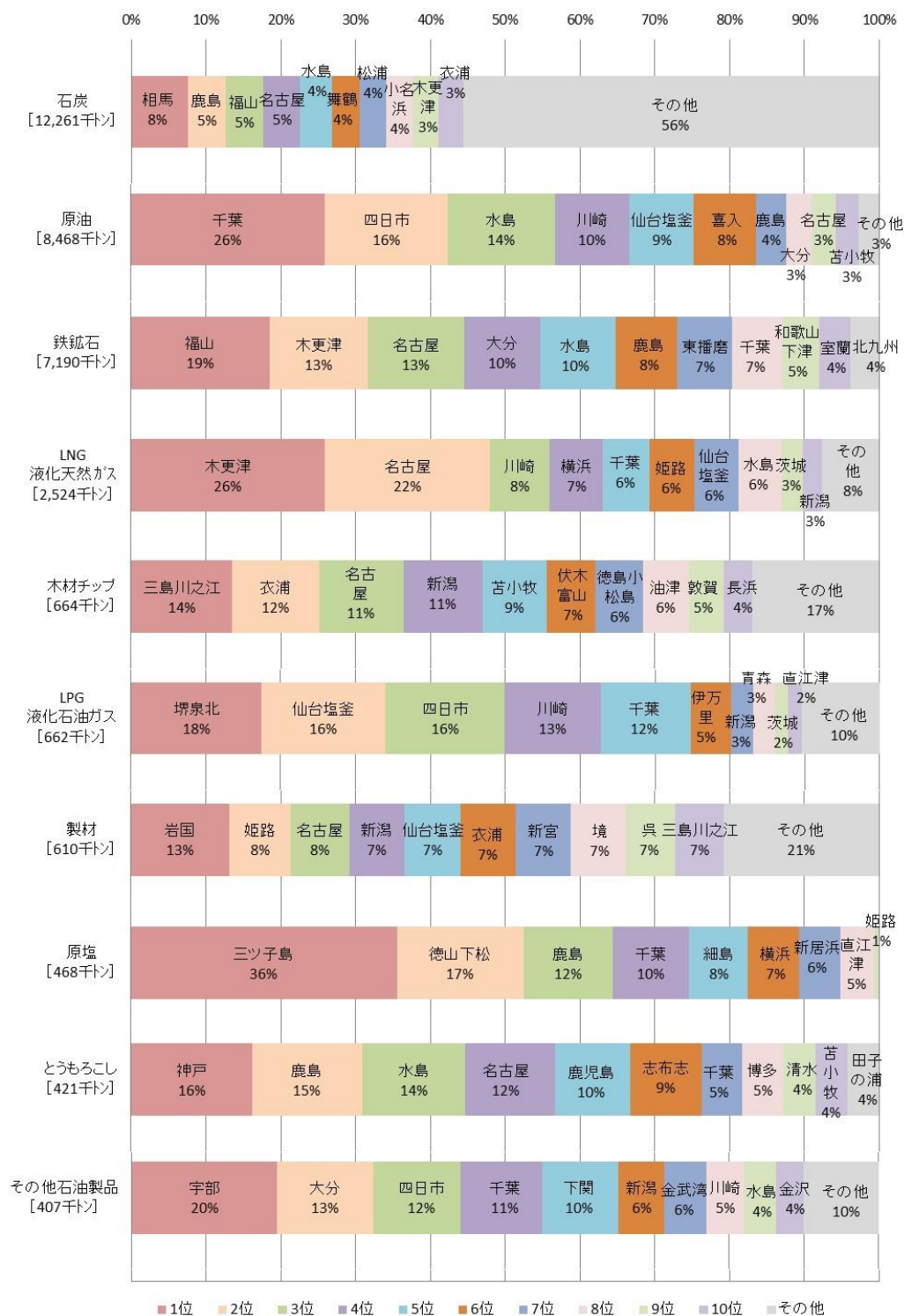
※11 位以下をその他とする

※完成自動車については 1 台 10 トンに換算した

図-3.1.6 輸出：品目別船積港別貨物量

2) 輸入（上位 10 品目）

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の石炭では、相馬港が 8%、鹿島港、福山港、名古屋港が 5%、水島港、舞鶴港、松浦港、小名浜港が 4%であった。2 位の原油では、千葉港が 26%、四日市港が 16%、水島港が 14%であった。3 位の鉄鉱石では、福山港が 19%、木更津港、名古屋港が 13%であった。

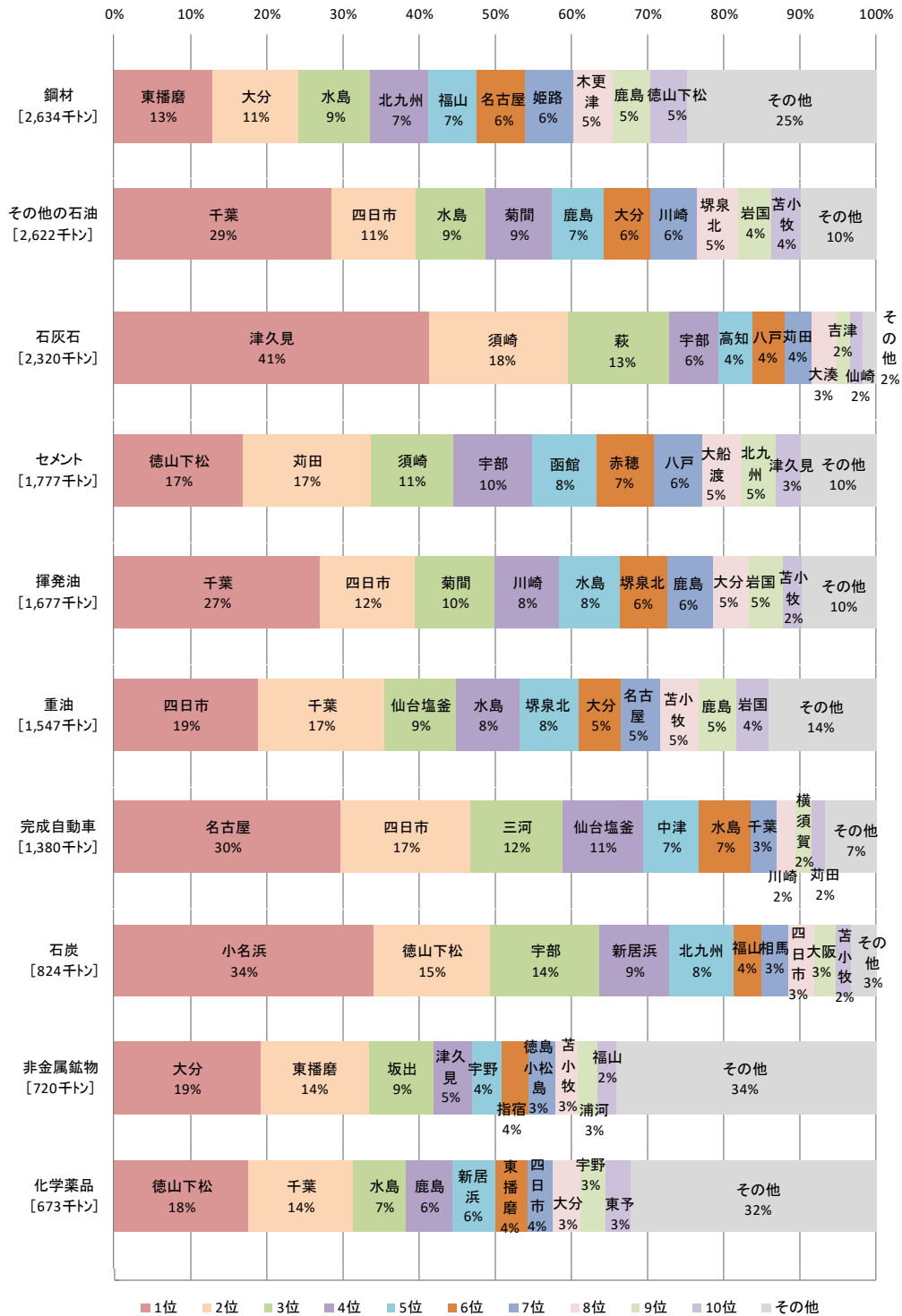


※11 位以下をその他とする

図-3.1.7 輸入：品目別船卸港別貨物量

3) 移出（上位 10 品目）

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の鋼材では、東播磨港が 13%、大分港が 11%、水島港が 9%であった。2 位のその他の石油では、千葉港が 29%、四日市港が 11%、水島港、菊間港が 9%であった。3 位の石灰石では、津久見港が 41%、須崎港が 18%、萩港が 13%であった。



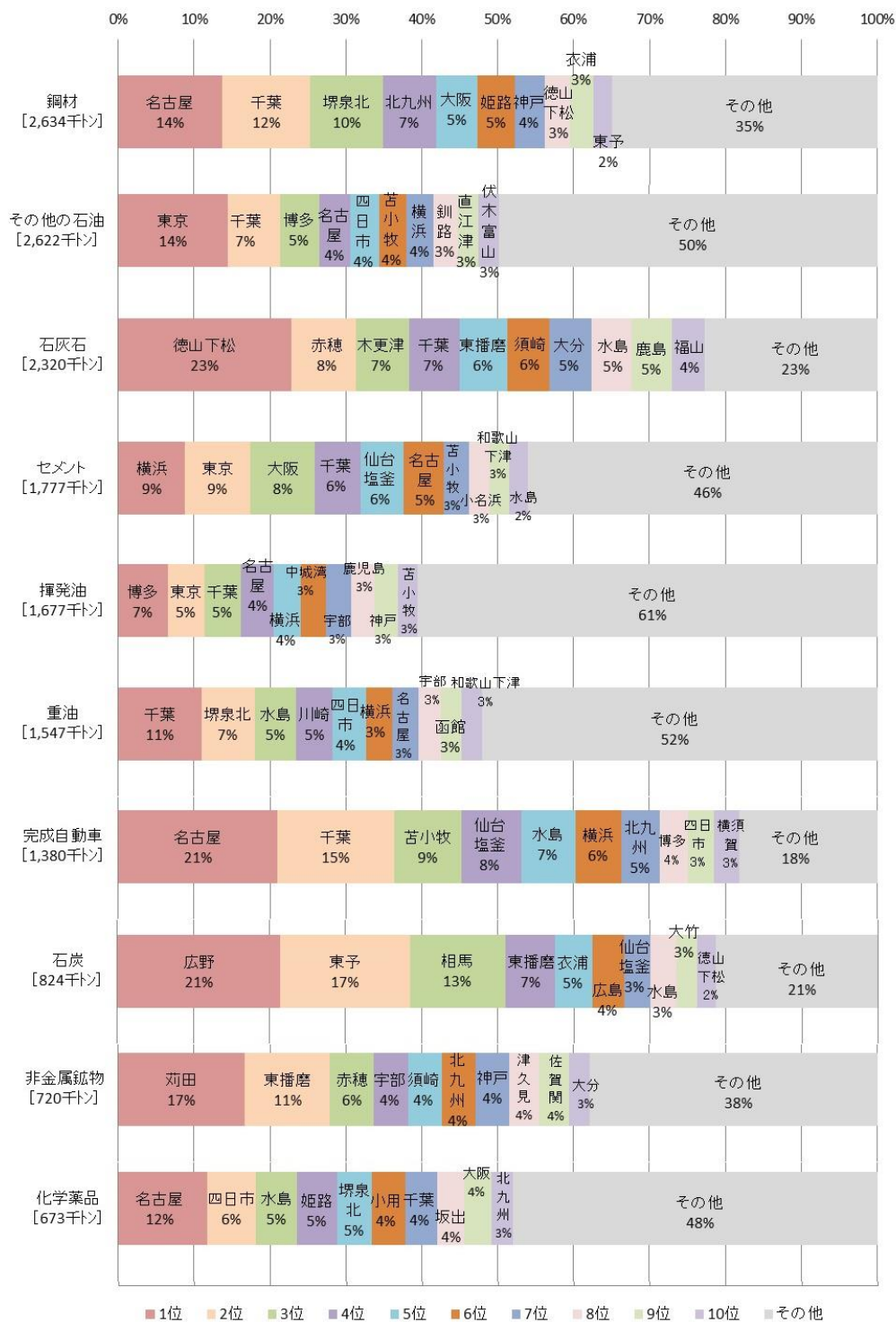
※11 位以下をその他とする

※完成自動車については 1 台 10 トンに換算した

図-3.1.8 移出：品目別船積港別貨物量

4) 移入（上位 10 品目）

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の鋼材では、名古屋港が 14%、千葉港が 12%、堺泉北港が 10%であった。2 位のその他の石油では東京港が 14%、千葉港が 7%、博多港が 5%であった。3 位の石灰石では、徳山下松港が 23%、赤穂港が 8%、木更津港、千葉港が 7%であった。



※11 位以下をその他とする

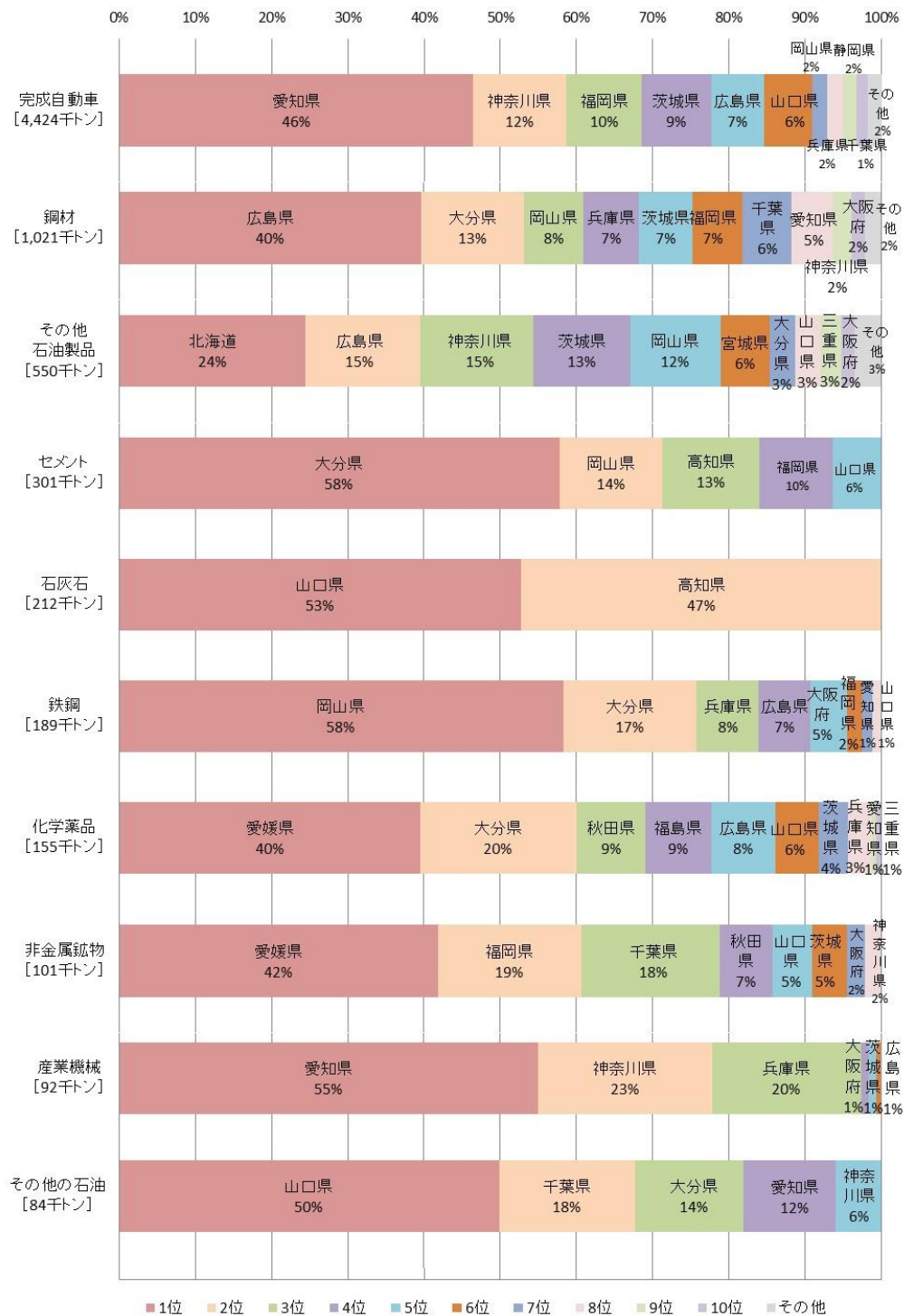
※完成自動車については 1 台 10 トンに換算した

図-3.1.9 移入：品目別船卸港別貨物量

(3) 品目別仕出地仕向地別貨物量（国内）

1) 仕出地（輸出）上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、愛知県が 46%、神奈川県が 12%、福岡県が 10%であった。2 位の鋼材では、広島県が 40%、大分県が 13%、岡山県が 8%であった。3 位のその他石油製品では、北海道が 24%、広島県、神奈川県が 15%であった。



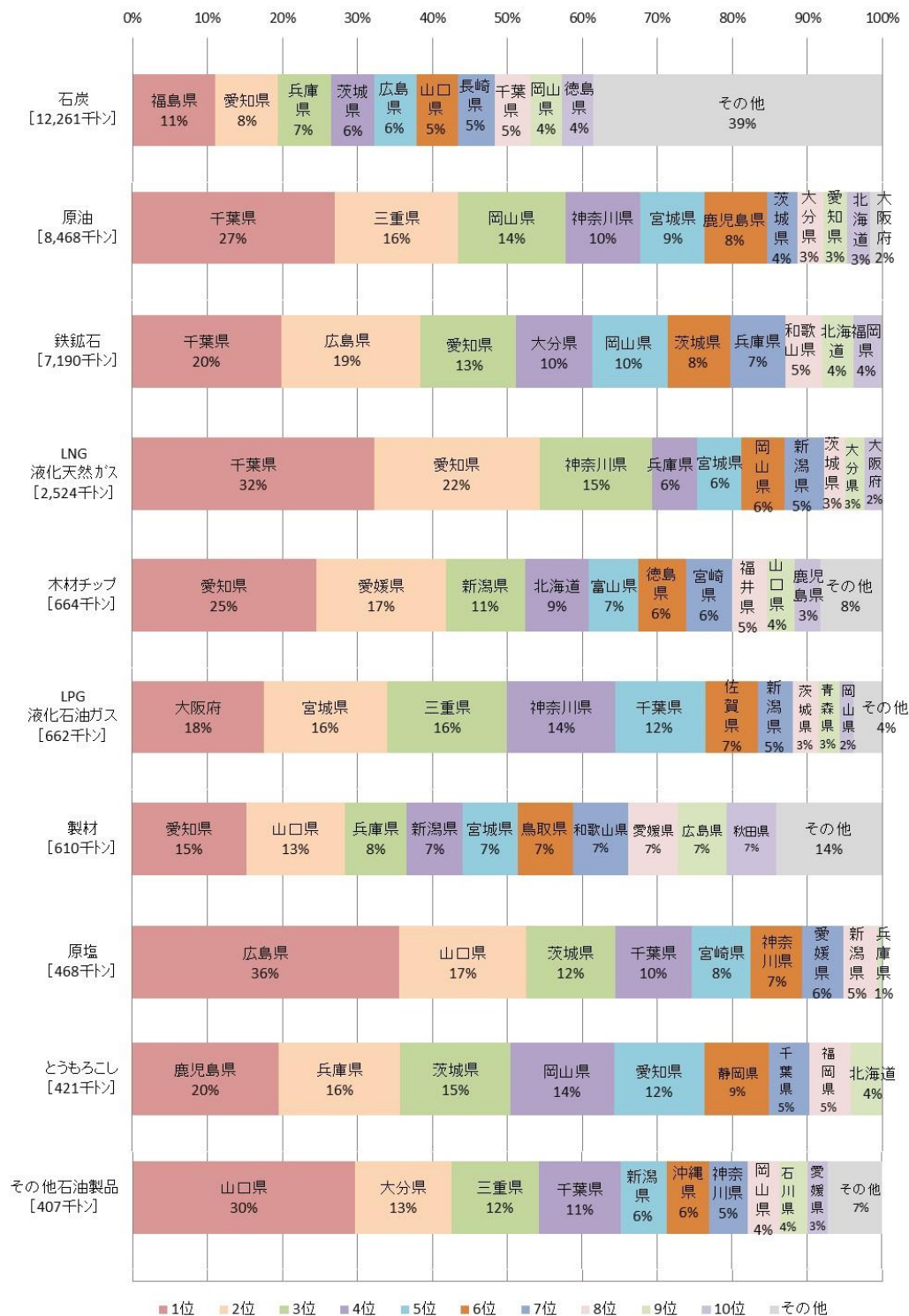
※11 位以下をその他とする

※完成自動車については 1 台 10 トンに換算した

図-3.1.10 輸出：品目別仕出地別貨物量

2) 仕向地（輸入）上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の石炭では、福島県が 11%、愛知県が 8%、兵庫県が 7% であった。2 位の原油では、千葉県が 27%、三重県が 16%、岡山県が 14% であった。3 位の鉄鉱石では、千葉県が 20%、広島県が 19%、愛知県が 13% であった。

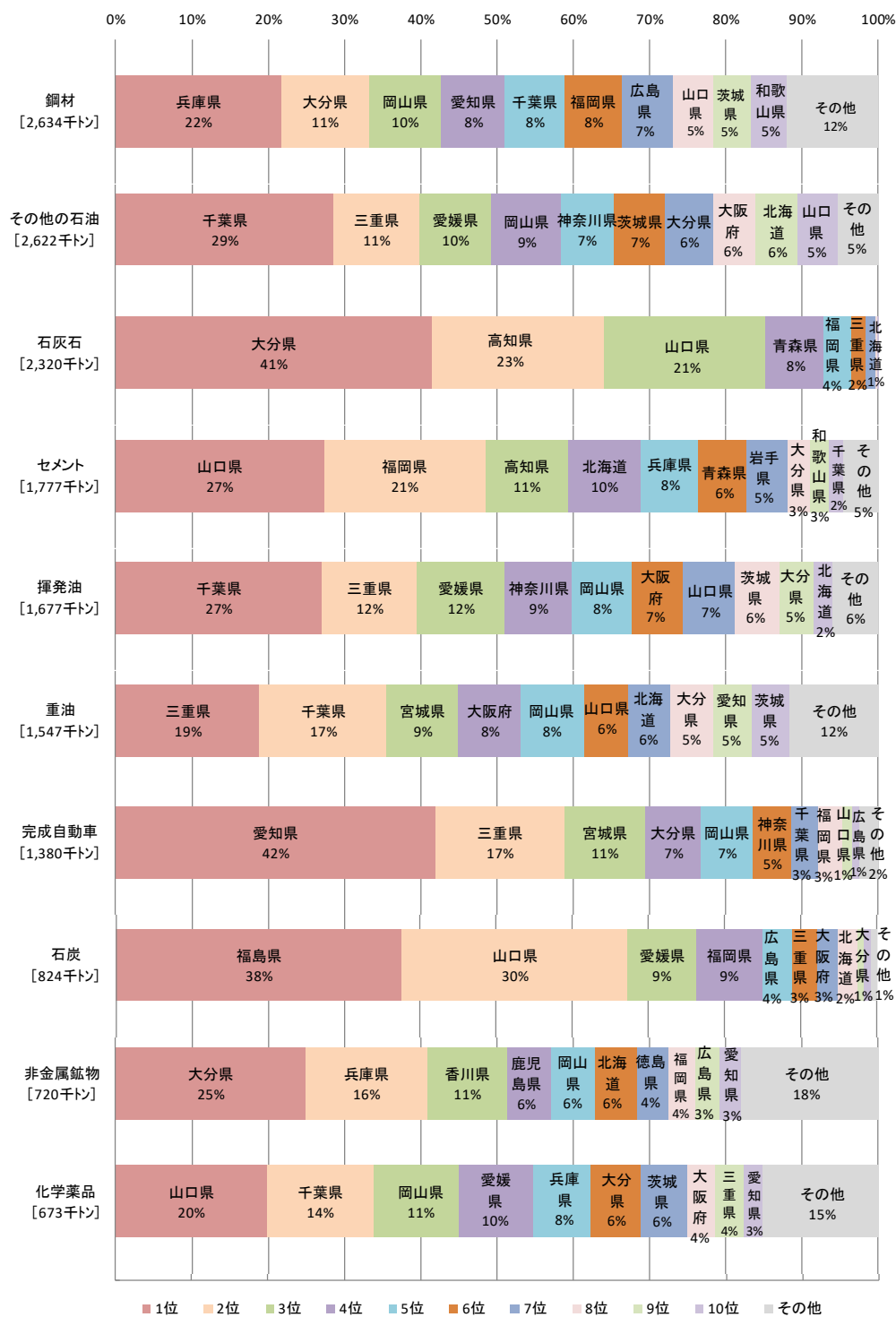


※11 位以下をその他とする

図-3. 1. 11 輸入：品目別仕向地別貨物量

3) 仕出地（移出）上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の鋼材では、兵庫県が 22%、大分県が 11%、岡山県が 10%であった。2 位のその他の石油では、千葉県が 29%、三重県が 11%、愛媛県が 10%であった。3 位の石灰石では、大分県が 41%、高知県が 23%、山口県が 21%であった。



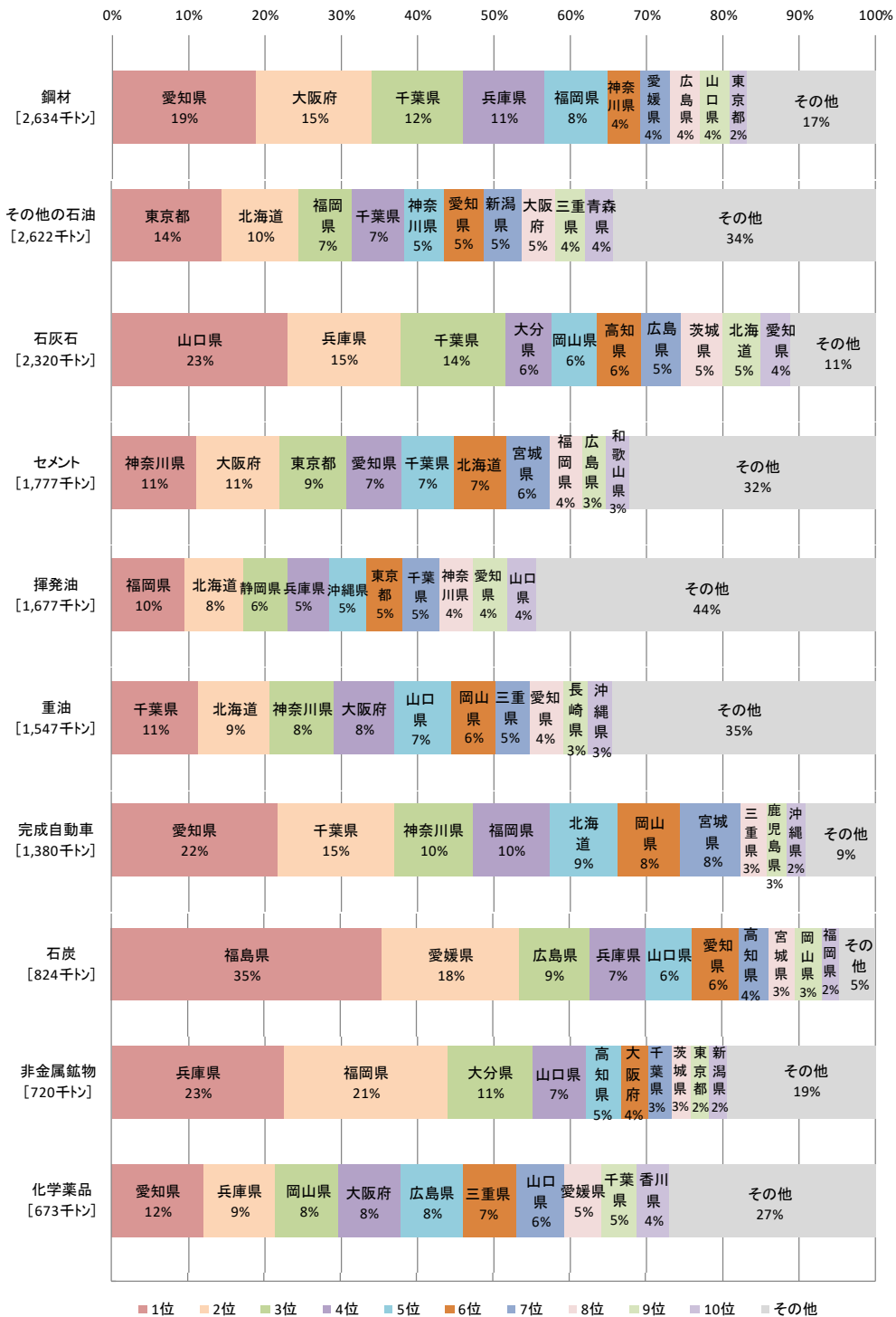
※11 位以下をその他とする

※完成自動車については 1 台 10 トンに換算した

図-3.1.12 移出：品目別仕出地別貨物量

4) 仕向地（移入）上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の鋼材では、愛知県が 19%、大阪府が 15%、千葉県が 12%であった。2 位のその他の石油では、東京都が 14%、北海道が 10%、福岡県、千葉県が 7%であった。3 位の石灰石では、山口県が 23%、兵庫県が 15%、千葉県が 14%であった。



※11 位以下をその他とする

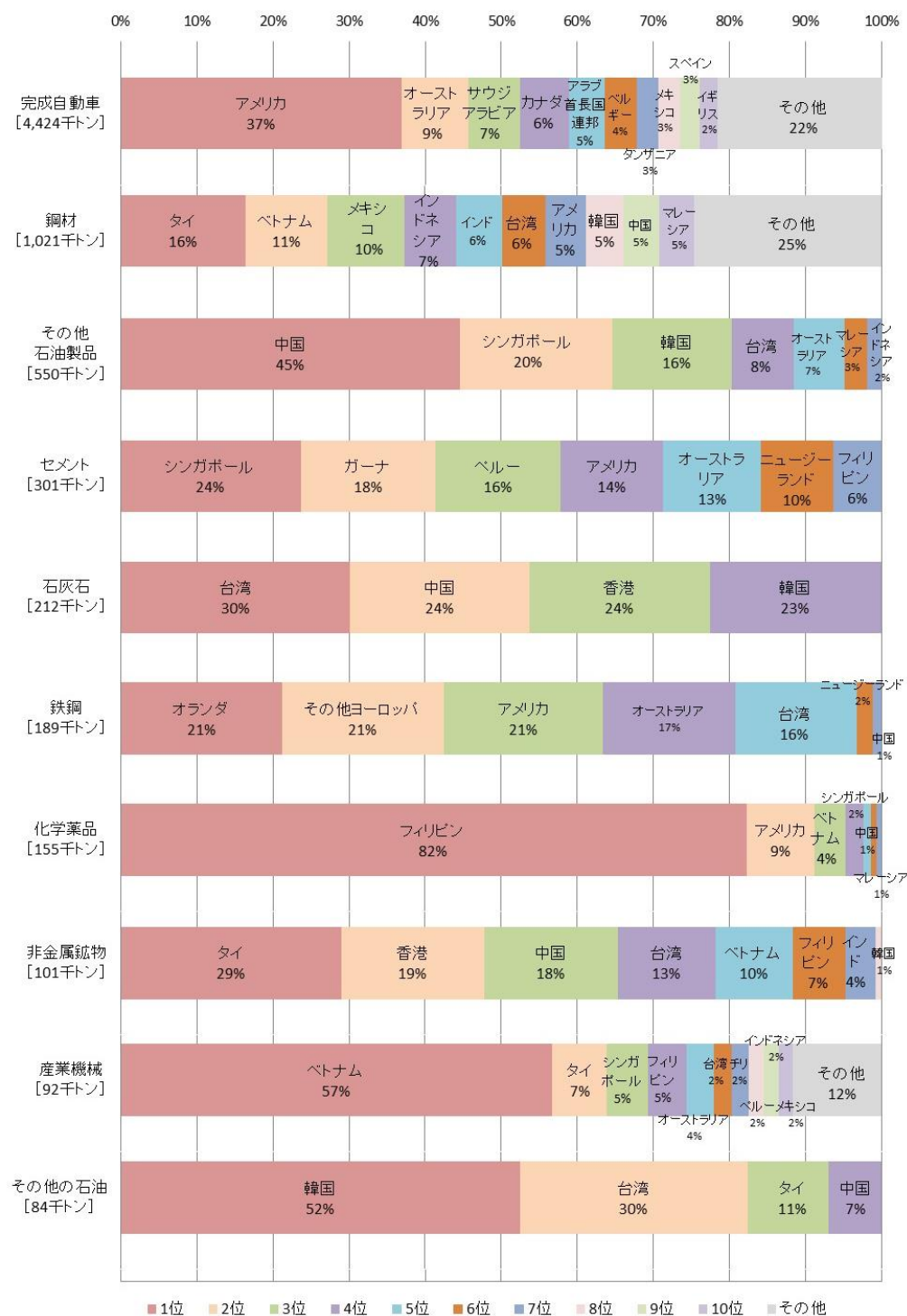
※完成自動車については 1 台 1 0 トンに換算した

図-3.1.13 移入：品目別仕向地別貨物量

(4) 品目別仕向国仕出国別貨物量（海外）

1) 仕向国（輸出）上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、アメリカが 37%、オーストラリアが 9%、サウジアラビアが 7%であった。2 位の鋼材では、タイが 16%、ベトナム 11%、メキシコ 10%であった。3 位のその他石油製品では、中国が 45%、シンガポールが 20%、韓国が 16%であった。



※11 位以下をその他とする

※完成自動車については 1 台 10 トンに換算した

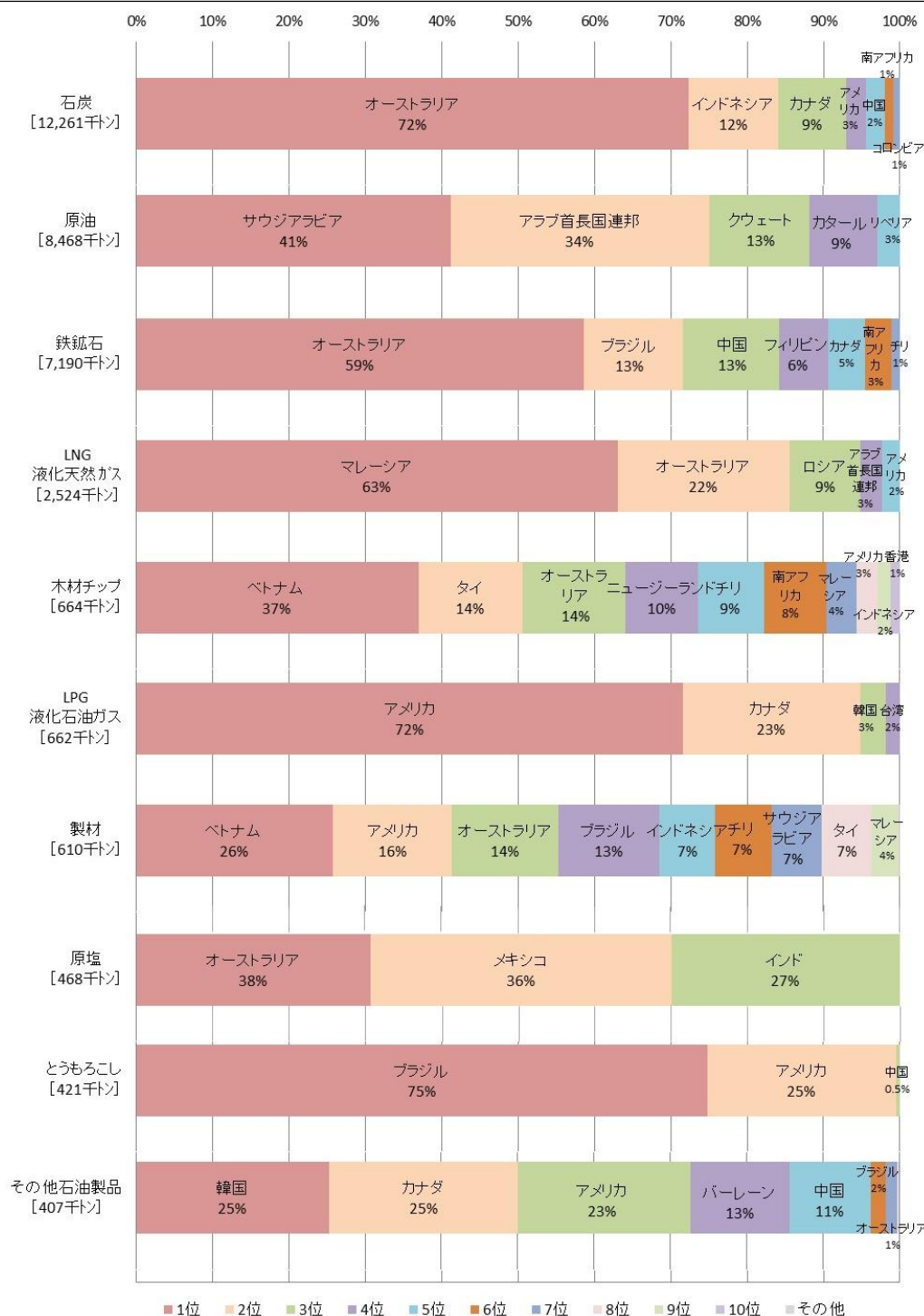
※不明は除く

図-3.1.14 輸出：品目別仕向国別貨物量

2) 仕出国（輸入）上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の石炭では、オーストラリアが 72%、インドネシアが 12%、カナダが 9%であった。2 位の原油では、サウジアラビアが 41%、アラブ首長国が 34%、クウェートが 13%で中東産油国中心あった。3 位の鉄鉱石では、オーストラリアが 59%、ブラジル、中国が 13%であった。

品目毎に 1 位、2 位の上位仕出国が高いシェアを占める傾向がみられた。



※11 位以下をその他とする
※不明は除く

図-3.1.15 輸入：品目別仕出国別貨物量

(5) 品目別出荷施設入荷施設別貨物量

輸出は、モータープールが 13%、野積場が 12%、タンクが 10%となった。輸入は、貯油槽が 22%、野積場が 20%、タンクが 9%となった。移出と移入はほぼ同じ傾向を示し、移出は、貯油槽が 26%、サイロが 16%、野積場が 14%、移入は、貯油槽が 24%、サイロが 14%、野積場が 12%となった。

表-3.1.4 出荷施設入荷施設別貨物量

出(入)荷施設の種類	輸出		輸入		移出		移入	
施設名	貨物量(千トン)	割合	貨物量(千トン)	割合	貨物量(千トン)	割合	貨物量(千トン)	割合
倉庫	596	7.8%	936	2.6%	1,435	7.3%	1,332	6.8%
貯油槽	84	1.1%	8,094	22.1%	5,073	25.9%	4,711	24.0%
危険物置場	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
タンク	752	9.9%	3,406	9.3%	1,815	9.3%	1,905	9.7%
野積場	882	11.6%	7,335	20.1%	2,762	14.1%	2,357	12.0%
水面貯木場	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
サイロ	198	2.6%	1,410	3.9%	3,071	15.7%	2,817	14.4%
モータープール	985	12.9%	142	0.4%	1,351	6.9%	1,351	6.9%
その他	1,023	13.4%	196	0.5%	199	1.0%	179	0.9%
不明	3,103	40.7%	15,054	41.2%	3,914	19.9%	4,968	25.3%
合計	7,623	100.0%	36,575	100.0%	19,619	100.0%	19,619	100.0%

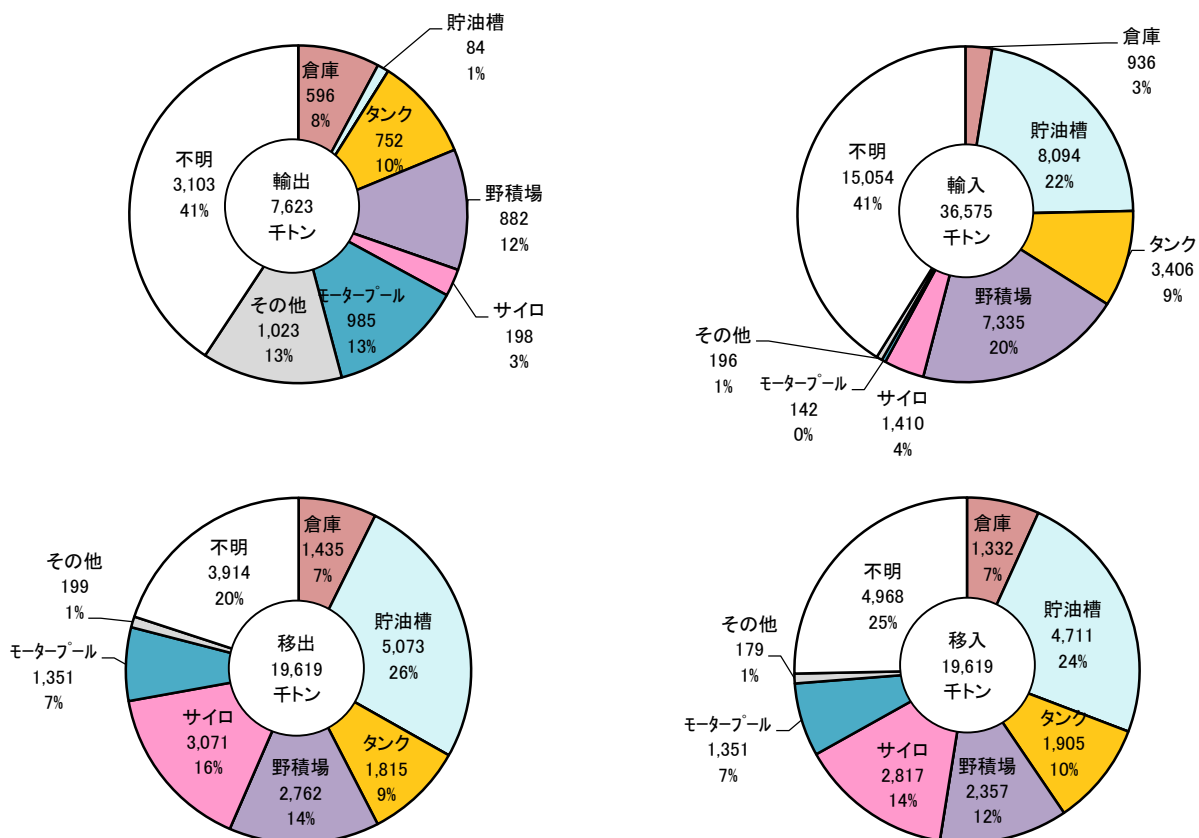


図-3.1.16 出荷施設入荷施設別貨物量

(6) 出荷入荷施設からの輸送の有無

輸出は、輸送無しが39%、輸送有り（船舶輸送伴わない）が15%となった。輸入は、輸送無しが51%、輸送有り（船舶輸送伴わない）が5%となった。

移出は、輸送無しが59%、輸送有り（船舶輸送伴わない）が14%となった。移入は、輸送無しが59%、輸送有り（船舶輸送伴わない）が13%となった。

なお、出（入）荷施設での輸送の有無で「輸送有り（船舶輸送伴う）」、「輸送有り（船舶輸送伴わない）」と回答したものを「内陸流動あり」、「輸送無し」と回答したものを「内陸流動なし」とする。

表-3.1.5 出荷入荷施設からの輸送の有無での貨物の取扱量

種別	輸出		輸入		移出		移入	
	貨物量(トン)	割合	貨物量(トン)	割合	貨物量(トン)	割合	貨物量(トン)	割合
有り(船舶輸送伴う)	11,035	0.1%	258,792	0.7%	19,228	0.1%	169,522	0.9%
有り(船舶輸送伴わない)	1,176,512	15.4%	1,989,504	5.4%	2,659,022	13.6%	2,474,887	12.6%
無し	2,990,510	39.2%	18,704,962	51.1%	11,646,328	59.4%	11,497,342	58.6%
不明	3,444,582	45.2%	15,621,632	42.7%	5,294,155	27.0%	5,476,982	27.9%
合計	7,622,639	100.0%	36,574,890	100.0%	19,618,733	100.0%	19,618,733	100.0%

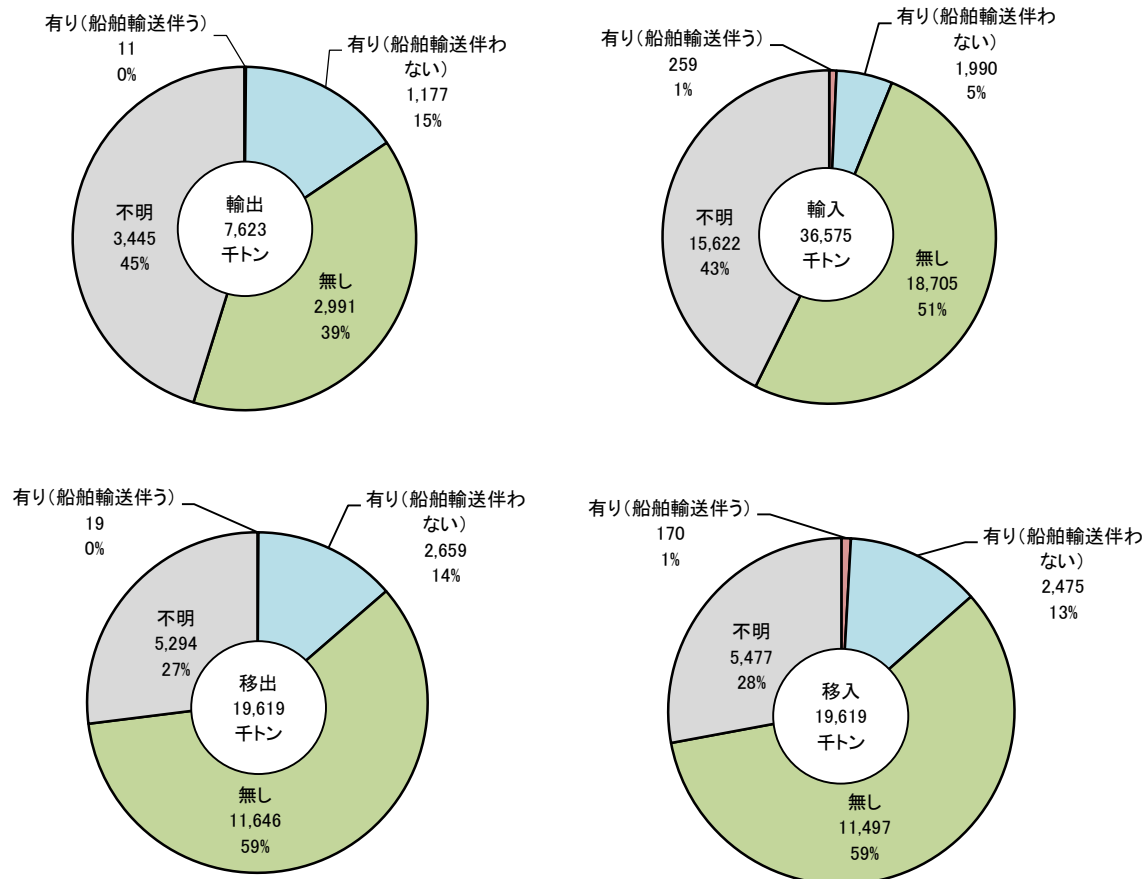


図-3.1.17 出荷入荷施設からの輸送の有無での貨物の取扱量

3-2. 船型、寄港回数等

(1) 船型別隻数

船型別隻数とは、11月に寄港した船舶の数で、同一船舶が複数回寄港しても1カウントとしている。

輸出では、10,001～20,000トンが47%、5,001～10,000トンが12%であった。輸入では、75,001～100,000トンが23%、30,001～200,001トン超までの合計が60%と大型の船舶が多い。内航では、10,000トン以下が96%、そのうち2,000トン以下が74%と小型の船舶が多い。

表-3.2.1 利用船舶重量トン数別隻数

区分	輸出		輸入		内航		合計	
	隻数	割合	隻数	割合	隻数	割合	隻数	割合
1,000トン以下	1	0.2%	1	0.2%	553	27.8%	555	18.0%
1,001～2,000トン	9	2.0%	13	2.0%	920	46.2%	942	30.5%
2,001～3,000トン	21	4.7%	14	2.1%	171	8.6%	206	6.7%
3,001～5,000トン	27	6.0%	28	4.3%	162	8.1%	217	7.0%
5,001～10,000トン	53	11.9%	45	6.9%	101	5.1%	199	6.4%
10,001～20,000トン	209	46.8%	117	17.9%	24	1.2%	350	11.3%
20,001～30,000トン	51	11.4%	21	3.2%	8	0.4%	80	2.6%
30,001～50,000トン	39	8.7%	75	11.5%	2	0.1%	116	3.8%
50,001～75,000トン	19	4.3%	86	13.2%	0	0.0%	105	3.4%
75,001～100,000トン	6	1.3%	147	22.5%	0	0.0%	153	5.0%
100,001～200,000トン	3	0.7%	26	4.0%	1	0.1%	30	1.0%
200,001トン超	0	0.0%	60	9.2%	0	0.0%	60	1.9%
不明	9	2.0%	19	2.9%	49	2.5%	77	2.5%
合計	447	100.0%	652	100.0%	1,991	100.0%	3,090	100.0%

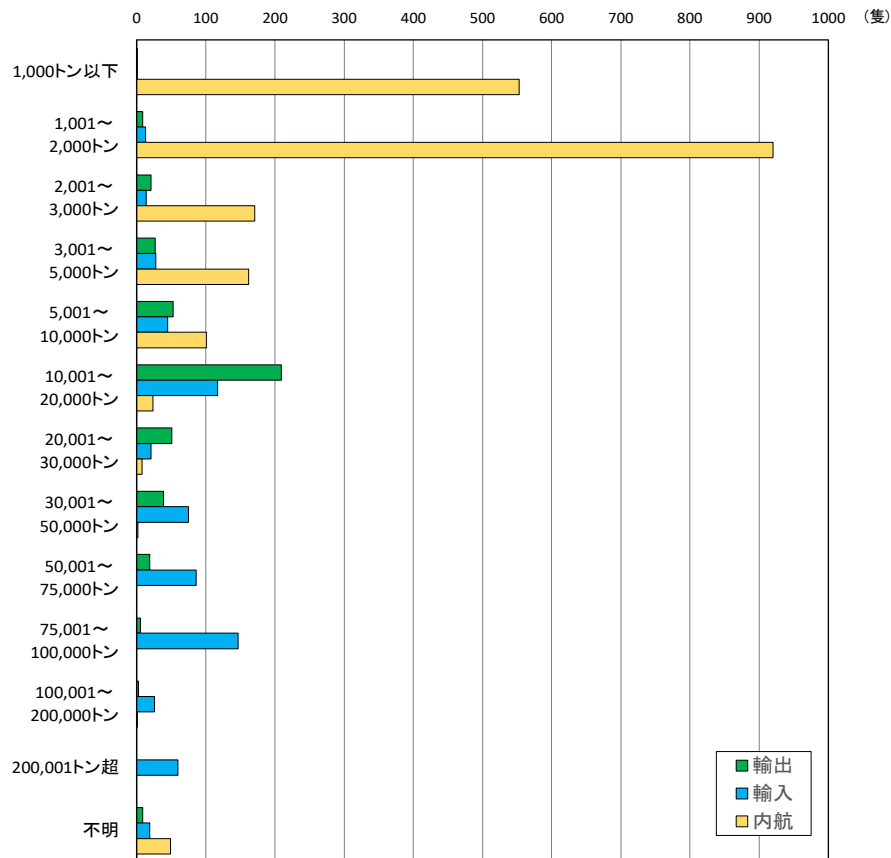
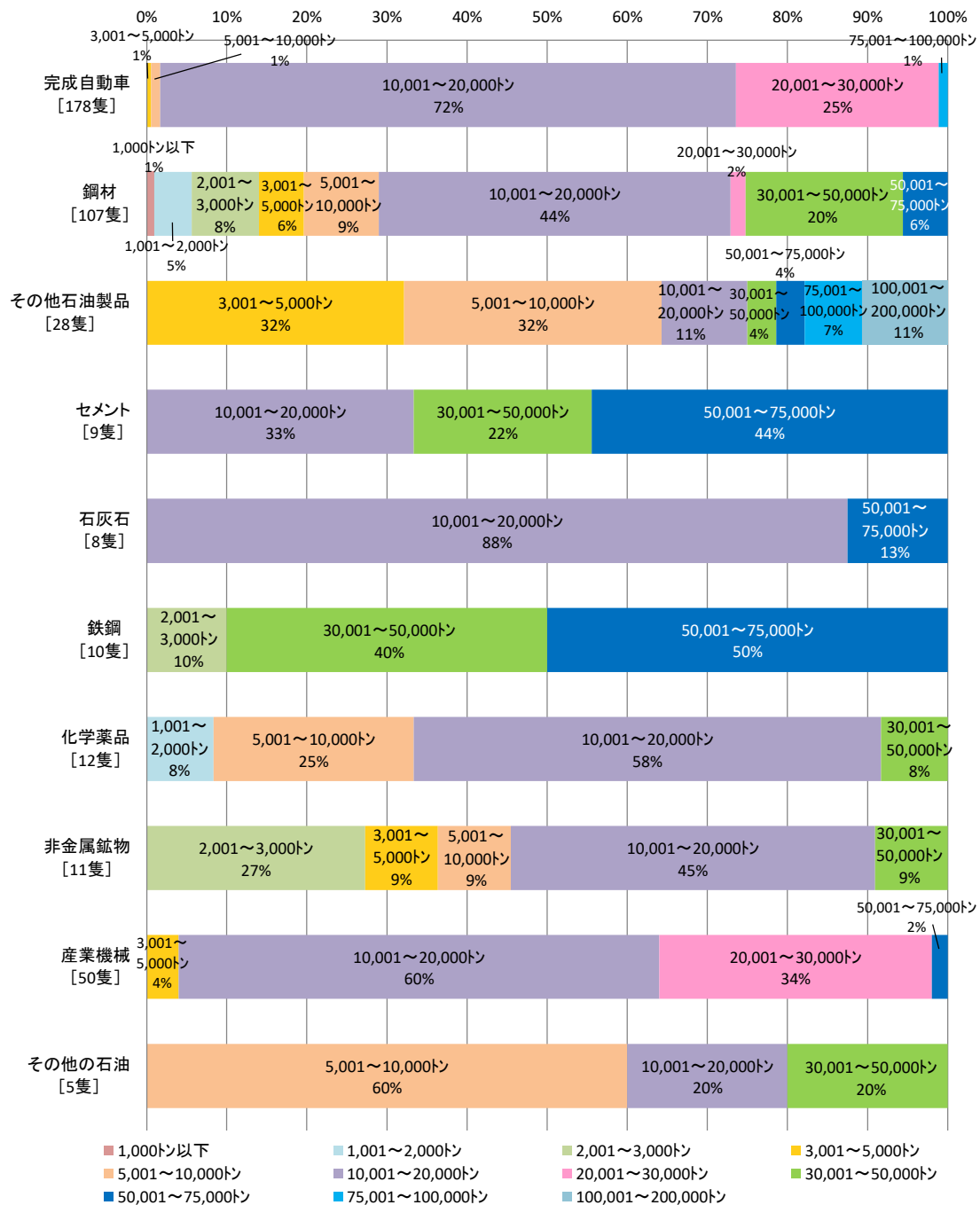


図-3.2.1 利用船舶重量トン数別隻数

1) 輸出 (上位 10 品目)

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、10,001～20,000 トンが 72%、20,001～30,000 トンが 25%であった。2 位の鋼材では、10,001～20,000 トンが 44%であった。3 位のその他石油製品では、3,001～5,000 トン、5,001～10,000 トンがともに 32%であった。

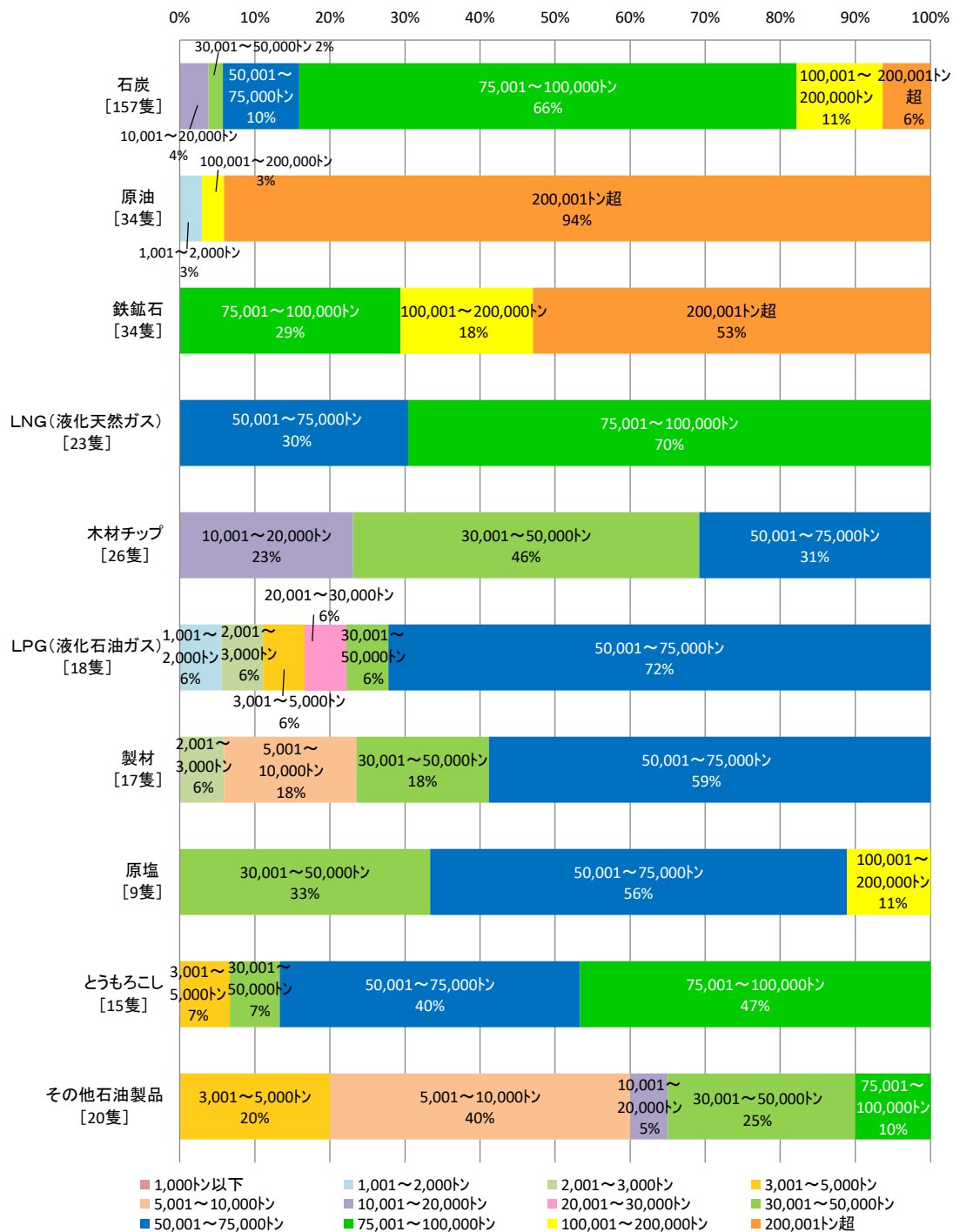


※不明を除いて作成

図-3.2.2 輸出：品目別重量トン数別隻数

2) 輸入（上位 10 品目）

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の石炭では、75,001～100,000 トンが 66%と大型の船舶が多い。2 位の原油では、200,001 トン超が 94%であった。3 位の鉄鉱石では、200,001 トン超が 53%、75,001～100,000 トンが 29%であった。

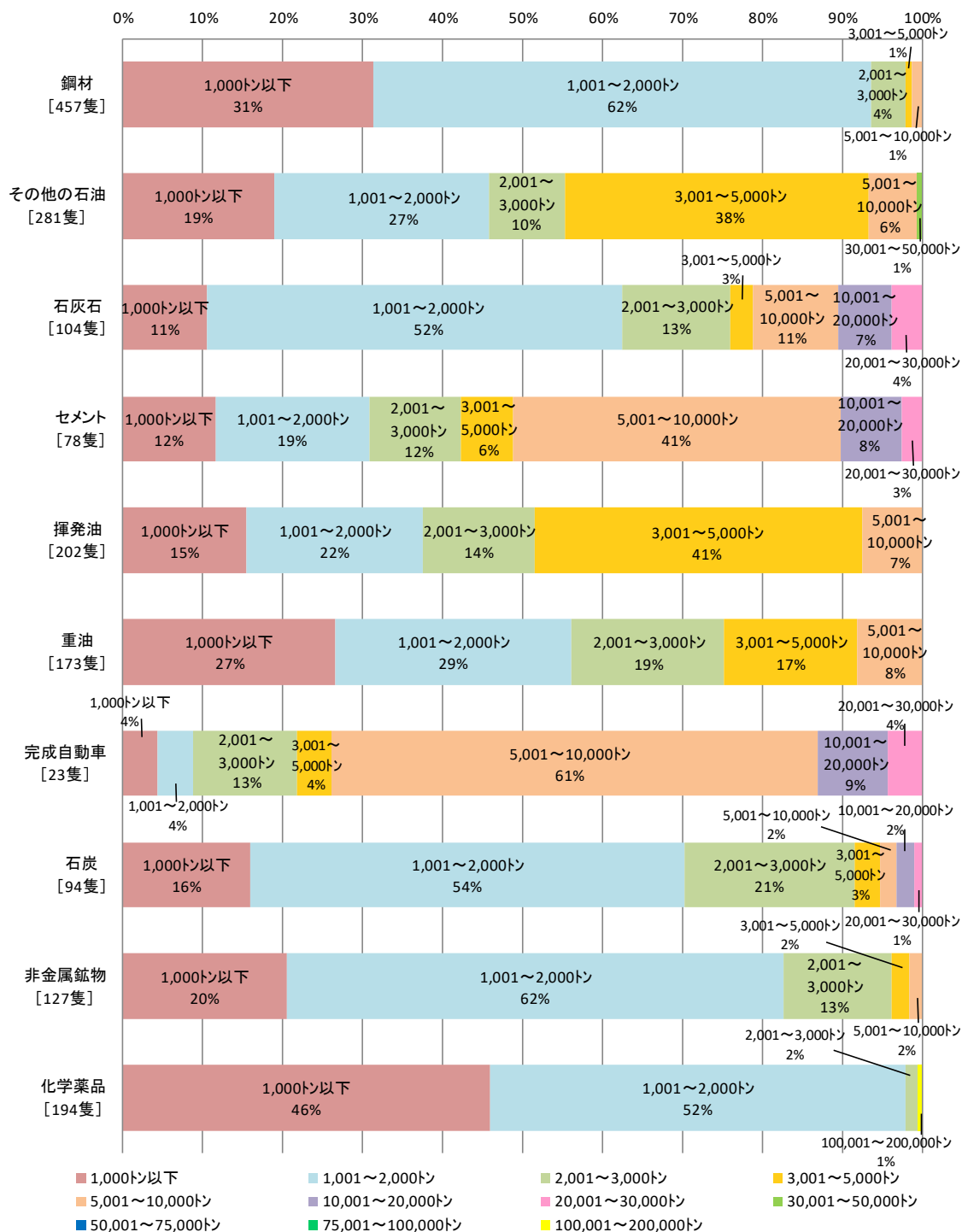


※不明を除いて作成

図-3.2.3 輸入：品目別重量トン数別隻数

3) 内貿（上位 10 品目）

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の鋼材では、1,001～2,000 トンが 62%と小型の船舶が多い。2 位のその他の石油では、3,001～5,000 トンが 38%、1,001～2,000 トンが 27%であった。3 位の石灰石では、1,001～2,000 トンが 52%であった。



※不明を除いて作成

図-3.2.4 内貿：品目別重量トン数別隻数

(2) 寄港回数

貨物が船積されてから、船積貨物が全て船卸されて積載貨物が0になるまでを1航海とした時の寄港回数は、輸出入内航いずれも、1港積・1港卸の寄港パターンが最も多く、輸出は57%、輸入は81%、内航は89%であった。特に内航でその割合が高い。

表-3.2.2 輸出：船舶寄港回数

寄港パターン	航海数	割合
1港積1港卸	286	57.4%
1港積2港卸	25	5.0%
1港積3港卸	12	2.4%
1港積4港卸以上	20	4.0%
2港積1港卸	17	3.4%
2港積2港卸	21	4.2%
2港積3港卸	12	2.4%
2港積4港卸以上	30	6.0%
3港積1港卸	3	0.6%
3港積2港卸	12	2.4%
3港積3港卸	10	2.0%
3港積4港卸以上	29	5.8%
4港積以上	21	4.2%
合計	498	100.0%

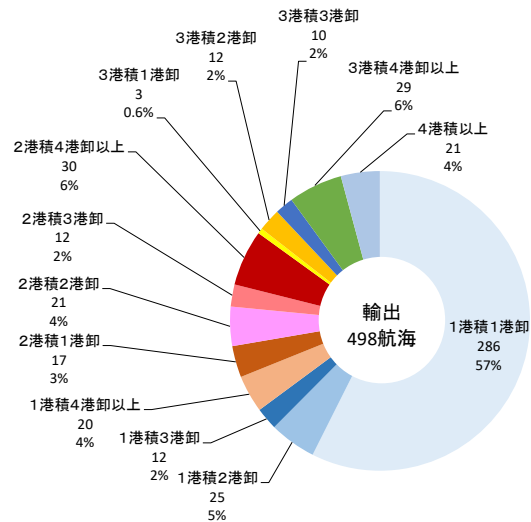


図-3.2.5 輸出：船舶寄港回数

表-3.2.3 輸入：船舶寄港回数

寄港パターン	航海数	割合
1港積1港卸	570	80.7%
1港積2港卸	59	8.4%
1港積3港卸	14	2.0%
1港積4港卸以上	4	0.6%
2港積1港卸	19	2.7%
2港積2港卸	13	1.8%
2港積3港卸	5	0.7%
2港積4港卸以上	0	0.0%
3港積1港卸	9	1.3%
3港積2港卸	5	0.7%
3港積3港卸	2	0.3%
3港積4港卸以上	2	0.3%
4港積以上	4	0.6%
合計	706	100.0%

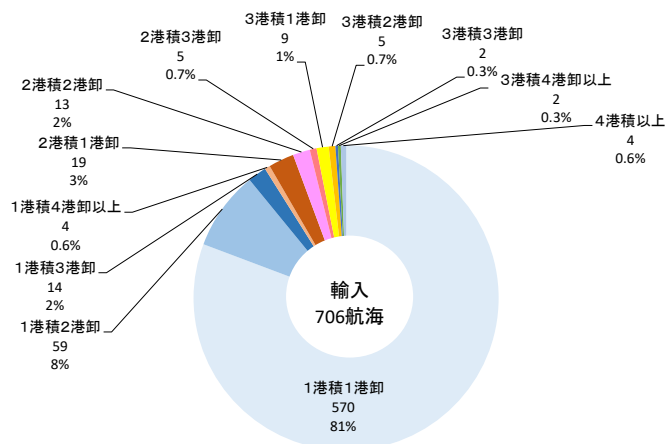


図-3.2.6 輸入：船舶寄港回数

表-3.2.4 内航：船舶寄港回数

寄港パターン	航海数	割合
1港積1港卸	10,459	89.4%
1港積2港卸	824	7.0%
1港積3港卸	96	0.8%
1港積4港卸以上	7	0.1%
2港積1港卸	118	1.0%
2港積2港卸	120	1.0%
2港積3港卸	22	0.2%
2港積4港卸以上	7	0.1%
3港積1港卸	2	0.0%
3港積2港卸	0	0.0%
3港積3港卸	6	0.1%
3港積4港卸以上	5	0.0%
4港積以上	28	0.2%
合計	11,694	100.0%

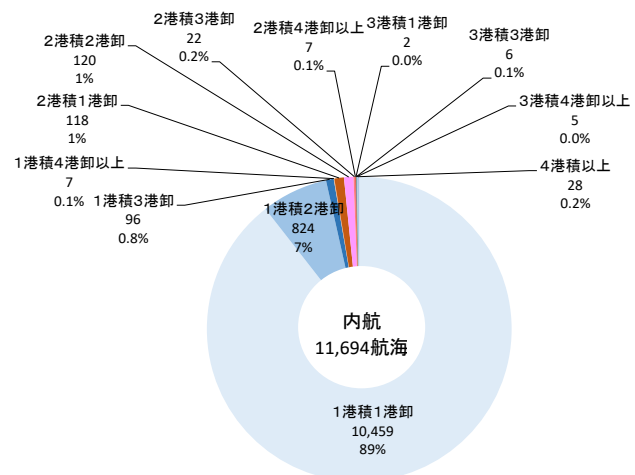


図-3.2.7 内航：船舶寄港回数

1) 輸出（上位 10 品目）

完成自動車は3港積以上が30%で次いで1港積1港卸が21%となっている。他の品目に比べて複数寄港することが多く、複数港積または複数港卸が約8割を占める。

なお、完成自動車の輸送は積卸を繰り返しており船腹が空になることのないケースもある。

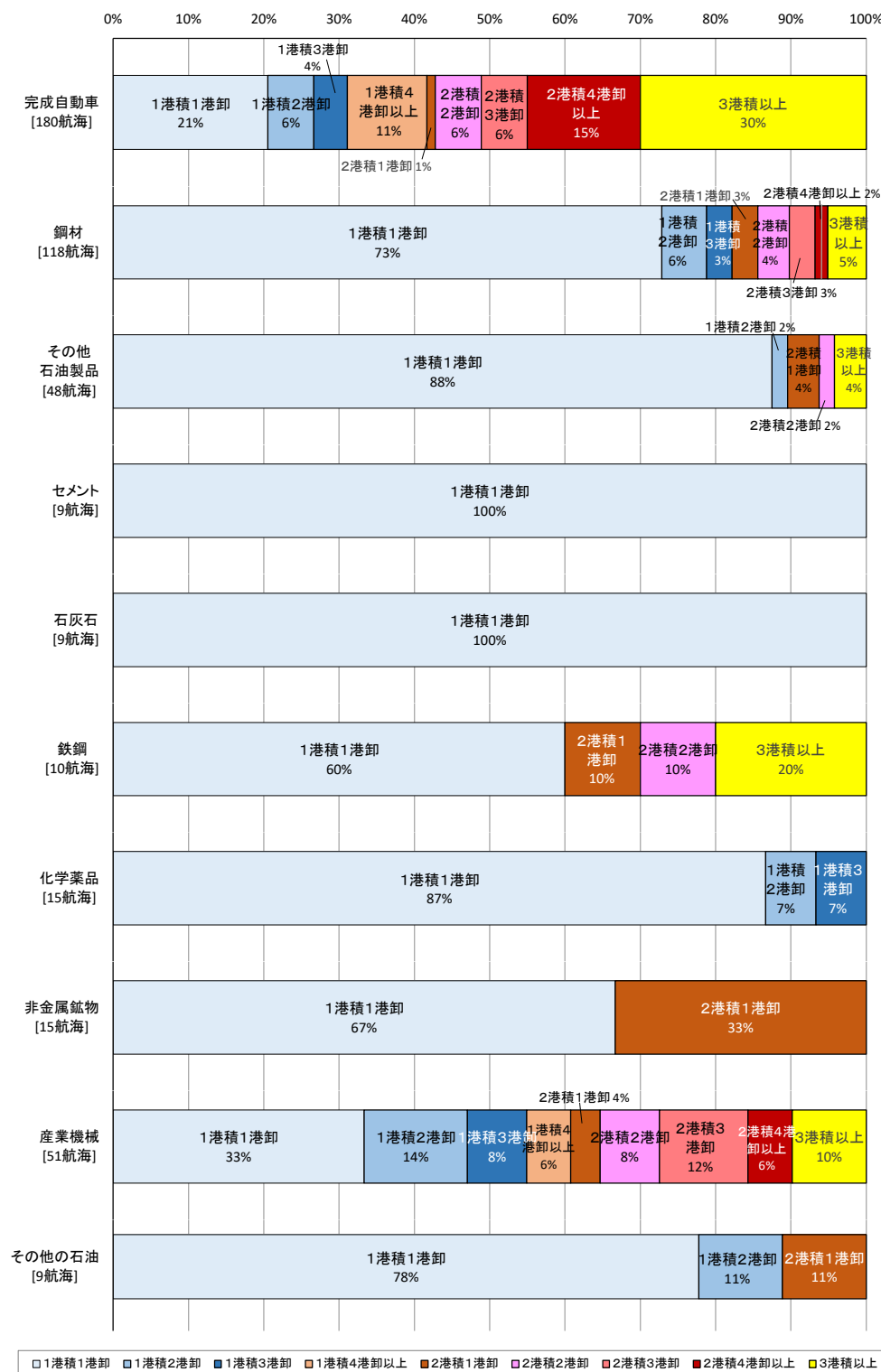


図-3.2.8 輸出：品目別寄港数

2) 輸入（上位 10 品目）

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の石炭では、1 港積・1 港卸が 89%であった。2 位の原油では、1 港積・1 港卸が 32%、複数港積または複数港卸が約 7 割であった。3 位の鉄鉱石では、1 港積 1 港卸が 74%であった。

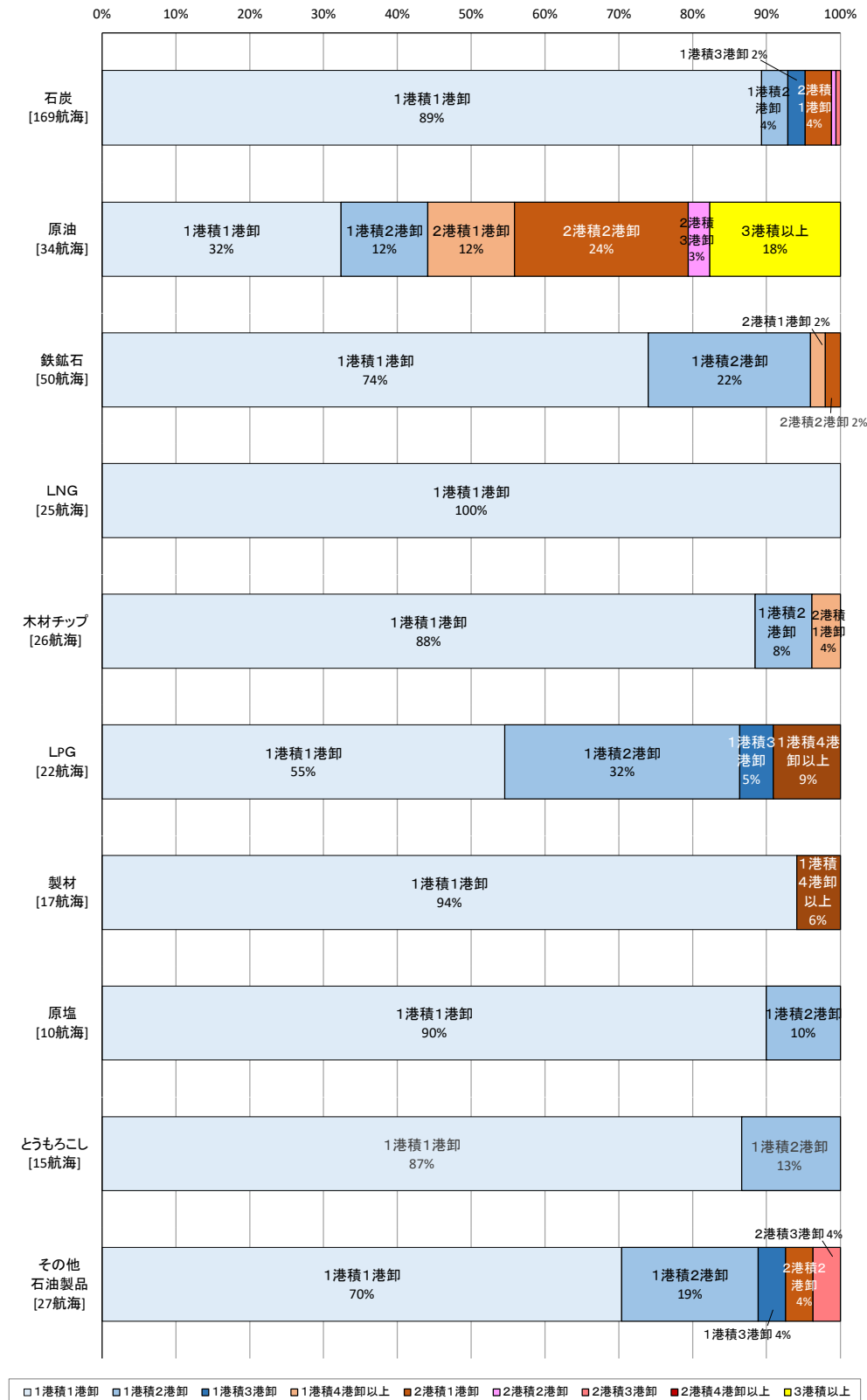


図-3.2.9 輸入：品目別寄港数

3) 内貿（上位 10 品目）

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の鋼材では、1 港積・1 港卸が 78%であった。2 位のその他の石油では、1 港積・1 港卸が 93%であった。3 位の石灰石では、1 港積・1 港卸が 98%であった。



図-3. 2. 10 内貿：品目別寄港数

3-3. 内陸及び海上の流動状況

1) 輸出

完成自動車を例に輸出の流動状況を地域ブロック別にみると、船積港が所在する港湾の地方ブロックを背後圏とする貨物がほとんどであり、他ブロックの港湾から船積される貨物は少なく、この点がコンテナ貨物の流動と異なるバルク貨物の特徴といえる。

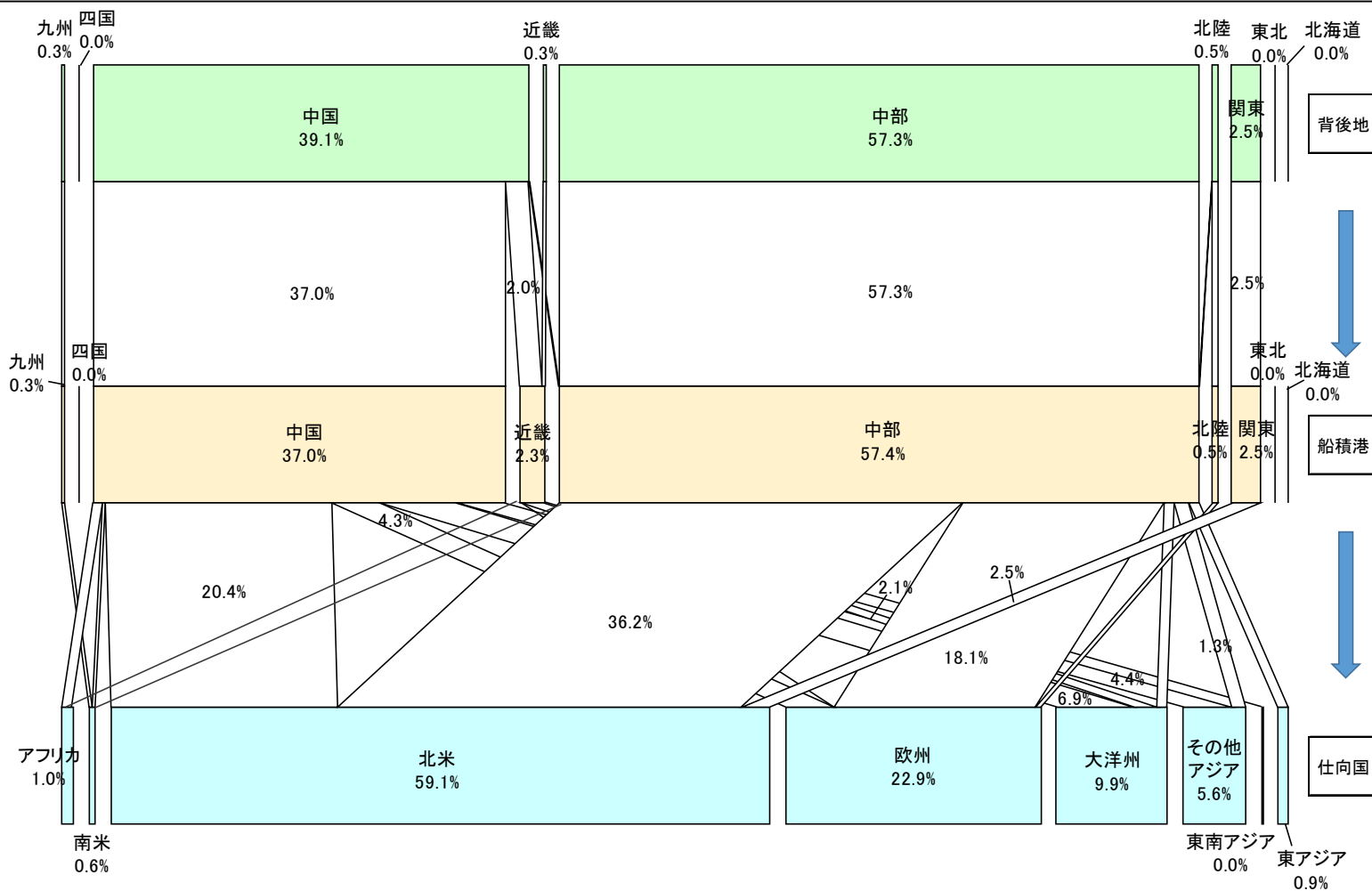
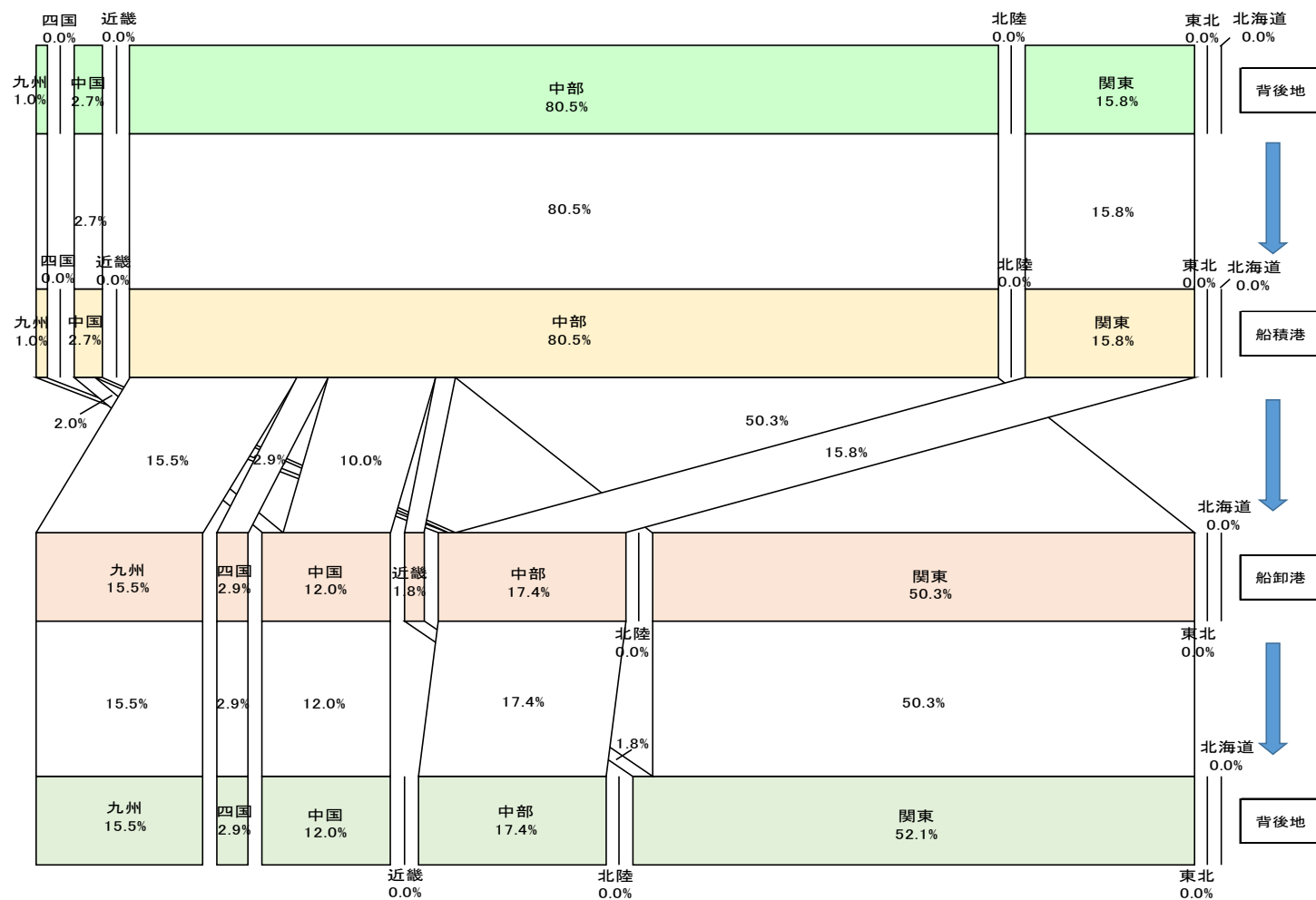


図-3.3.1 輸出：仕出地（地域）～船積港～仕向地（海外国）（完成自動車）

※「内陸流動あり」とする貨物を対象
※不明を除く

3) 内航

内航も外航と同様の流動であり、完成自動車を例に地域ブロック別にみると、船積港・船卸港が所在する港湾の地方ブロックで生産・消費される貨物がほとんどであり、他ブロックの港湾を利用する貨物は少ない。



※「内陸流動あり」とする貨物を対象
※不明を除く

図-3.3.3 内航：仕出地（地域）～船積港～船卸港～仕向地（地域）（完成自動車）

参考資料

品目コード表

注) 船積(船卸)の貨物の品目をご回答の際には、この品目コード表に基づく中分類のコード(3桁)または具体的な品目名をご記入下さい。

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示
1	農水産品	011	麦	大麦	1	農水産品	051	その他農産品	もっこ
				裸麦					麦わら
				小麦					種子
				えん麦					球根
				らい麦					球根
				精麦					花き
				メスリン					農産加工品
				オート					他の農産品
		021	米	もみ			061	羊毛	羊毛
				玄米					洗上羊毛
				精米					
		022	とうもろこし	砕精米			071	その他畜産品	馬
				とうもろこし					牛
		023	豆類	大豆					豚
				小豆					七面鳥
				えんどう					あひる
		024	その他雑穀	あわ					馬肉
				ひえ					牛肉
				もろこし(マイロ)					豚肉
				そば					鳥肉
				カナリシード					未加工・加工前の牛乳
		031	野菜・果物	甘しょ					未加工・加工前の山羊乳
				馬鈴しょ					鶏卵
				種馬鈴しょ					うずらの卵
				大根					副産糸
				蓮根					山羊毛
				玉ねぎ					牛皮
				キャベツ					馬皮
				きのこ					原毛皮
				みかん					原毛布
				リンゴ					他の畜産品
				バナナ					犬
				なし					猫
				もも					狐
				乾がき					モルモット
				くり					動物性粗繊維
				冷凍果実及び冷凍ナッツ			081	水産品	イカ
		041	綿花	綿花					タコ
				コットンリンター					エビ
				繰綿					うに
				ボーンバックス綿					まぐろ
				アスクレピアス綿					魚介類
		051	その他農産品	大麻					冷凍魚介類(缶・びん詰は含まず)
				マニラ麻					にぼし
				へちま					魚卵
				しゅろ					たらこ
				さとうきび					貝柱
				綿実					かつお節
				茶葉					こんぶ
				コーヒード					のり
				こうぞ					のり加工品
				はっか					貝殻
				さんしょう					金魚
				こんにゃくいも					真珠
				なわ					他の水産品
				むしろ	2	林産品	091	原木	製材用丸太
				こも					合単板丸太
				種子					足場用材
				球根					銘木原木
				花き			092	製材	板類
				杭					床板
				ひき割り類					押角
				ひき角類					耳付き材
							101	樹脂類	生ゴム

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示
2	林産品	101	樹脂類	天然樹脂	3	鉱産品	162	石材	とうろう
				天然ゴム					石碑
				ラテックス					割石
				類似ゴム			171	原油	原油
				生松脂					瀝青油
				生漆					タールサンド
				ラック					天然揮発油
		111	木材チップ	木材チップ					天然ガス(ガス状)
				木くず					天然アスファルト
				木粉					廃原油
		112	その他林産品	果樹			181	りん鉱石	天然鉱ろう
				樹木の根					りん鉱石
				枝					グアノ
				竹					燐酸カリウム
				他の樹木			191	石灰石	りん酸アルミニウム
				かん木					石灰石(大理石を除く)
				つる					セメント用石灰石
				苗木			201	原塩	鉄鋼用石灰石
				花木					岩塩
				竹材					天日塩
		121	薪炭	しばまき					にがり
				そだ			211	非金属鉱物	かん水
				木炭					チリ硝石
				黒炭					陶石
				加工木炭					石こう
				たどん					けい砂
				オガライト					ドロマイト
3	鉱産品	131	石炭	無煙炭	4	金属機械工業品	221	鉄鋼	水晶
				せん石					ダイヤモンド
				原料炭					粘土
				一般炭					ウラン鉱
				亜炭					火山灰
				泥炭					螢石
				草炭					長石
		141	鉄鉱石	鉄鉱石					鉄鋼スラグ
				砂鉄鉱					銅スラグ
				硫酸焼鉱					フェロニッケルスラグ
				硫化鉄粗鉱					亜鉛、鉛スラグ
				硫化鉄精鉱			222	鋼材	銑鉄
				磁硫鉄粗鉱					原鉄
		151	金属鉱	マンガン鉱			231	非鉄金属	鑄鉄品
				クロム鉱					フェロアロイ
				タングステン鉱					粗鋼
				銅鉱					普通鋼半製品
				鉛鉱					特殊鋼半製品
				亜鉛鉱					形鋼
				ニッケル鉱					棒鋼
				チタン鉱					鋼板
		161	砂利・砂	砂利					帯鋼
				バラスト					線材
				碎石					鋼管
				軽量骨材					銅
				河砂					鉛
				浜砂					亜鉛
				洗砂					すず
				黒砂					ニッケル
				壁砂					アルミニウム
				銀砂					非鉄金属
				碎砂					銅線
				スラグ					アルミニウム線
		162	石材	花こう岩					ウラン
				大理石					マンガン
				玉石					電力ケーブル

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示
4	金属機械工業品	231	非鉄金属	伸銅品	4	金属機械工業品	256	その他輸送機械	操船装置
				電線					ぎ装品
				マンガン					飛行機
				地金					回転翼機
				合金					飛行船
		241	金属製品	鉄骨			261	産業機械	発動機
				鉄塔					プロペラ
				鉄柱					飛行機等の機体部品
				橋梁					水管ボイラー
				金属扉					燃焼装置
				サッシ					ジェットエンジン
				ブラインド					蒸気タービン
				家屋の屋根					ラジエータ
				釘					原子炉
				針金					金属加工機械
				ねじ					圧延機
				ボルト					鍛造設備
				金網					エレベーター
				ワイヤロープ					ろ過器
				刃物					冷凍機
				工具					ミシン
				大工道具					鉱山機械
				医療用鋼製器具					破砕機
				パネ					掘削機
				鍵					クレーン
				ぼうろう鉄器					コンクリートミキサー
				綿材製品					農業用機械
				他の金属製品					トラクター
		251	鉄道車両	機関車			262	電気機械	空調装置
				電車					他の産業機械
				客車					回転電気機械
				貨物車					変圧器
		252	完成自動車	車両部品					配電盤
				乗用自動車					照明器具
				乗合自動車					電気機器
				貨物自動車					電動工具
		253	その他輸送用車両	シャーシ					有線通信装置
				動力付運搬車					無線通信装置
				フォークリフト					コンピューター
				産業用運搬車					X線装置
		254	二輪自動車	構内作業車			263	測量・光学・医療用機械	溶解炉
				装甲車両					半導体
				オートバイ					測量機
				モータ・スクータ					計量器
		255	自動車部品	二輪車用側車			264	事務用機器	機械時計
				ガンソリン機関					望遠鏡
				ディーゼル機関		265	その他機械	ドライクリーニング装置	カメラ
				電動機					ガスマスク
				自動車車体					電子卓上計算
				機械部品					複写機
				シャーシ用部品					ワードプロセッサ
		256	その他輸送機械	自動車用部品			271	陶磁器	オートバイ
				自転車					モータ・スクータ
				リヤカー					二輪車用側車
				荷車					ガンソリン機関
				車椅子					ディーゼル機関
				そり					電動機
				客船					自動車車体
				はしけ					機械部品
				ヨット					シャーシ用部品
5	化学工業品	271	陶磁器	漁船					自動車用部品
				潜水艦					自転車
				船舶用機器					リヤカー
									荷車

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示
5	化学工業品	271	陶磁器	タイル	5	化学工業品	341	石炭製品	煉炭
		281	セメント	ポルトランドセメント					豆炭
				シリカセメント					鉱物性タール
				高炉セメント					ピッチコークス
		291	ガラス類	アルミナセメント			351	化学薬品	希硫酸
				他のセメント					濃硫酸
				普通板ガラス					苛性ソーダ
				変り板ガラス					炭酸ソーダ
				ステンドガラス					無水炭酸ソーダ
				ガラス塊					ソーダ灰
				ガラス粉					塩酸
				ガラス棒					アンモニア
				ガラス球					カーバイド
				ガラス管					塩素
				ガラス食器					酸素
				光ファイバー					水素
		301	窯業品	ガラス製品					無機工業製品
				普通れんが					高圧ガス
				耐火れんが					タール製品
				コンクリート製品					ロジン
				石綿スレート					しょう脳
				ALC					はっか脳
				生石灰					ナフタリン
				消石灰					鎖式有機工業薬品
				黒石灰					アセチレンガス
				苦土石灰			361	化学肥料	硫酸アンモニウム
				電極					石灰窒素
				炭素棒					尿素
				石綿布					塩化アンモニウム
				活性炭					硝酸アンモニウム
				研磨材					過りん酸石灰
				コンパウンド					塩化カリウム
				石綿製品					硫酸カリウム
				耐火モルタル					硫酸カリ苦土
				セメント拡散剤					化成肥料
				アスファルト					配合肥料
				るつぼ					石灰質肥料
				セメントクリンカー					苦土肥料
				石こうボード			371	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	合成染料
				屋根瓦					有機溶剤
				石炭灰					有機顔料
		311	重油	A重油					無機顔料
				B重油					油性塗料
				C重油					ラッカー
		320	揮発油	ガソリン					塩化ゴム塗料
				ナフサ					セラックニス
		321	その他の石油	航空タービン燃料					シンナー
				灯油					蛍光塗料
				軽油					合成樹脂
				潤滑油					合成ゴム
		322	LNG(液化天然ガス)	モーターオイル					動物性油脂
		323	LPG(液化石油ガス)	液化天然ガス					植物性油脂
				液化プロパンガス					加工油脂
		324	その他石油製品	液化ブタン					化粧品
				液化メタンガス(LMG)					ワックス
				液化製造ガス					写真感光材料
				絶縁油					医薬品
				グリース					可塑剤
				ワセリン					人工甘味料
		331	コークス	石油コークス					火薬
				コークス					香料
				半成コークス(コーライト)					接着剤
				亜炭コーライト					農薬

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示
6	軽工業品	381	紙・パルプ	溶解パルプ	7	雑工業品	441	衣服・身廻品・はきもの	衣服
				製紙パルプ					じゅうたん
				その他のパルプ					寝具
				洋紙					かばん
				和紙					ハンカチ
				加工紙					バッグ
				壁紙					革靴
				加工繊維板			442	文房具・運動娯楽用品・楽器	新聞
				紙袋					雑誌
				巻き取り紙					書籍
		391	糸及び紡績半製品	紡績半製品					地図
				長繊維糸					証券印刷物
				紡績糸					筆記具
				生糸					事務用具
				絹糸					帳簿類
		401	その他繊維工業品	織物					便せん
				綿織物					絵画用具
				不織布					事務用のり
				織物					娯楽用品
				ひも					パチンコ装置
		411	砂糖	粗糖					囲碁
				氷砂糖					マーじゃん
				角砂糖					つりざお
				水あめ					運動競技用具
				ぶどう糖					野球用具
		421	製造食品	ハム			ハングラライダー		
				ベーコン			CD		
				牛乳			MD		
				チーズ			レコード		
				かまぼこ			楽器		
				小麦粉			たんす		
				うどん			テーブル		
				茶			石炭・ガス・石油ストーブ		
				コーヒー			ガスコンロ		
				香辛料			湯沸器		
				めん類			浴槽		
				もち			洗濯ばさみ		
				缶詰			ほうき		
				菓子類			まな板		
				味噌			皿		
				醤油			コップ		
				調理冷凍食品			かま		
				こんにゃく			なべ		
				調味料			料理用具		
		422	飲料	清涼飲料			飲食器		
				ビール			ナイフ		
				清酒			はし		
				洋酒			美術品		
		423	水	飲料水			工芸品		
				氷			骨董品		
		424	たばこ	雪			切手・貨幣等収集品		
				紙巻たばこ			444	その他日用品	マッチ
		葉巻たばこ	ライター						
		食塩	ろうそく						
		化学調味料	線香						
		イースト	ヘアブラシ						
		寒天	つけまつげ						
			ハンガー						
			ボタン						
7	雑工業品	431	がん具	金属製がん具	451	ゴム製品	ゴムタイヤ		
				木製がん具			再生ゴム		
				プラスチック製がん具			ゴムベルト		
				ゴム製がん具			ゴムベルト		
				人形			ゴムバンド		

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示
7	雑工業品	461	木製品	単板	8	特殊品	512	廃土砂	廃土砂
				合板					瓦れき
				集成材					残土(建設発生土)
				防火木材					汚染土壌
				障子					山土
				雨戸			521	輸送用容器	金属製容器
				屋根					ガラス製容器
				たる			531	取合せ品	わら製容器
				おけ					引越荷物
				工業生産建築物					小屋掛材料
				プレハブ建築物					演芸見世物用具
				パネル					郵便物
				建築用ユニット					貨物
		471	その他製造工業品	製革					小荷物
				牛革					内外航船舶の小口混載貨物
				馬毛	9	分類不能のもの	541	分類不能のもの	分類不能のもの
				革ベルト					工業用水
				ガーゼ					
				放射性物質治療用品					
				手術用品					
				メガネ					
				コンタクトレンズ					
				人工呼吸器					
				歯科材料					
				農機具					
				漁具					
				いかだ					
				養殖網					
				防塵マスク					
				サングラス					
				安全帽					
				救命防災器具					
				医療用品					
				農林水産器具					
				マネキン					
8	特殊品	481	金属くず	鉄くず					
				鋼くず					
				銅くず					
				アルミくず					
				廃自動車					
		491	再利用資材	古紙					
				プラスチックくず					
				廃タイヤ					
				ゴムウエスト					
				紡績ウエスト					
		501	動植物性製造飼肥料	炭酸カルシウム					
				バクテリア類					
				乳質飼料					
				配合飼料					
				灰類					
				骨粉					
				蚕よう					
				乾燥魚類					
				ビートパルプ					
				大豆油かす					
		511	廃棄物	塵芥					
				ふん尿					
				廃油					
				雪					
				汚泥					
				焼却灰(石炭灰を除く)					
				廃家電					
				ガラスくず					